

●モノグラフ小学生ナウ



父親

vol.4-3

©1984(株)福武書店 教育研究所 加藤智博・和田京子
東京学芸大学助教授 深谷和子
千葉市立園生小学校教諭 上杉賢士

目次

特集／父親	2
調査レポート／父親	
要約	6
1. 家庭の中の父親像	8
● お父さんへの注文	8
● お父さんの生活スケジュール	11
● 食卓の風景	11
● テレビを見る時	12
● お父さんのもちもの	13
● 家族の一員としてのお父さん	14
2. 父親との接触度	15
● お父さんと一緒にすること	15
● お父さんとの話題	18
● 子どもをどのくらい知っているか	19
3. 子どもの抱く父親像	20
● お父さんのイメージ	20
● 相談相手としてのお父さん	23
まとめに代えて	25
シリーズ／講座・子ども調査入門③	
面接調査	27
資料1 調査票見本	33
資料2 学年・性別集計表	40

父親

東京学芸大学助教授 深谷和子



優しくなった父親たち

最近の父親たちがそろって優しい存在になり、かならずしもそれぞれの家族の中でVIP扱いをされなくなったことを嘆く声が、ひとところ盛んに聞かれたものである。ところが最近では、「友だちのようなお父さん」の姿があまりにも一般化してしまい、昔のような権威と力の象徴としての父親像を、実像として思いおこすのは、非常にむずかしい作業になってしまった。それはかつて、ガスや電気の代わりに炭やマキを使ってごはんを炊いた時代があった——というのと同じくらいの、ほんやりとしたイメージでしか、われわれの中にない。それぞれの家族の中で、一人ひとりの父

親が、ほぼ例外なく偉大な存在だったなどとは、現代では想像もつかないことになってしまっている。

しかし、かりに昔の父親が家族の中で例外なく偉大だったとしても、それをさせていたのは、父親たちのそれぞれの個人的力量からではなくて、ただ単にそうした状況を生み出すような社会的条件がととのっていたからにすぎないと指摘する人びともある。

ここで最近の父親が、昔にくらべ家族の中で力を失ってしまった理由を考えてみよう。

① 家族のサイズの縮小

たとえば学生のサークル活動の運営のされ方を見ても、4人のテニス同好会にはリーダーは不要である。4人なら、とくにメン

一問で役割を決めなくても、情報はよく伝達され、相互に意志は通い合い、必要な決定はそのつどそのつど皆で下していけばよい。ところがそれが10人、20人のサークルになると、何らかの意味で組織づくりが必要となり、リーダーが生まれる。それと似たようなことが、昔の大家族と現代の少子家族の場合に言えるだろう。昔の家族には誰か強力なリーダーが必要だったが、現代の家族には必要でない。それが家庭内での父親の地位を、昔と今とで大きく変えてしまったのだろう。

② 経済力の接近

人間の評価は、その人がどのくらいの経済力をもっているかで決まる場合が、しばしばだ。家族の中の父親の場合にもそのことが言えるだろう。かつて、家族の中で最大の（そしてしばしば唯一の）働き手は、父親だった。母親は自営の場合でなければ、外では働かないのが普通だったし、年功序列社会の中では、子は、働いても、長年働いてきた父親の収入には遠く及ばなかった。その意味で父親は、家族にとって、かけがえのない存在だったのである。その経済力に対する評価が、父親の家族内地位を形づくっていたと言ってもよいだろう。しかし現在は、父親だけでなく母親もまたかなりの割合で外で働いている。さらに、丈夫なからださえあれば、アルバイトにせよ本業にせよ若者向きの仕事にはこと欠かず、しかもそうした肉体労働に限って、収入は高い。本気でアルバイトを20日すれば、30年働いてきた父親の月給をしるいでしまうことも珍しくはない。

そうなると、当然ではあるが、父親の家族内での地位は下降する。VIP扱いされないのもしかたのないことであろう。

③ 見えない父親

かつてドイツの社会学者A.ミッチャーリッヒは「父親なき社会」という著書の中で、「見えざる父親」の概念をのべ、それが工業化社会の宿命であることを指摘した。生産労働が

昔のように家庭内で営まれることがなくなり、都市化の進む中で、父親は家庭から遠く離れた職場で一日の多くを過ごすようになった。父親の最も重要な役割である「家族のために働く」、または、世にあって「家族のために闘う」という、いちばん男らしく雄々しい姿は、子どもの目とどこかぬところで発揮されることとなった。子どもの目には、または家族の目には、父親の弱く人間的な部分だけが映るようになる。こうした父親の姿に対しては、これまでのように父親をエライものとして、家族の中で特別の座を用意しようとする構えが失われていくのも、やむをえないことかもしれない。

④ 情報の一般化

かつて各種の情報は、一部の人の専有物であったと言ってもよい。世の中で、エライ人とは、特別の情報をもっている人だったのである。たとえば、学者がよい例だろう。そして、父親は何といても社会に出て仕事をしている関係上、家にいる母親や子どもがよく知らない「世間」を知っている、エライ存在だったのである。父親は、いわば社会の窓、もしくは情報の伝達役として貴重な存在であ



り、一家にとって価値をもった人であった。

しかし現代は、発達したマスメディアのおかげで、情報はあらゆる人びとに十分にゆき渡る。父親が手に入れる情報より、家にいてテレビや雑誌を読む母親や子どものほうが、しばしば多くの情報を手に入れている場合もある。ここに父親がVIPの座をすべりおりる条件が、また一つあると言えそうだ。

⑤ 性役割の減少

あらゆる社会には、「性別」という地位に対して期待される、個有の行動様式がある。男性は強くたくましく、女性はやさしく美しくというのがその一例である。そうした地位に対してそれぞれ「期待される行動のしかた」があれば、人びとはその期待にふさわしい行動のしかたをしようと努力する。昔の男性は、強くたくましく、いつも女性や年少の者に対してリーダーシップをとることを期待されていた。そのことが、家庭内においても、父親

の役割の内容をきめる際に、大きな作用をもったのだろう。子に対して「親」であること以外に、女性に対して「男性」であることが、「父親」はどうあらねばならないか、という人びとのイメージを作り上げていたと思われる。ところが、男らしさ、女らしさという「性役割」は、もともと文化的にかなり無理して両性の上に割りつけられていただけに、時代と共にしだいにゆるやかなものになってきている。両性は、服装や行動のしかたに至るまで、相互に従来の異性役割の内容を取り入れてきている。とくに女性の学歴や職業経験が男性のそれと接近したことによって、両性の行動上の差は、内側からもぐっと縮められてきている。となると、男性役割に裏づけられた「父親」役割も、しだいに「母親」役割と差のないものになってきて、それが逆に父親としての「地位」を、昔とくらべるとおおいに弱いものにしてしまったのだとも言えそうだ。



典型像の崩壊

以上のような条件を考えてみると、近年家庭の中で父親の座がしだいに失われてきている現象は、父親自身の中にその原因があるというよりも、父親をとりまく社会的条件の変化が、父親をそのような状況に追いやったのだといわれる点がよくわかってくる。

かつてアメリカの社会学者T・パーソンズは、家族の中での父親の役割を「道具的、手段的な(インストルメンタルな)」リーダーととらえ、家族をひっぱり目的地に向かわせる力量をもった強い父親像を、現代の核家族における父親の役割と指摘した。さらに彼によれば母親は、家族集団のまとめ役にあたる(表出的——エクスプレッシブな)リーダーであり、したがって強く大きい父親と、やさしく暖かい母親の組み合わせを、あらゆる家族に基本的で典型性をもつパターンと考えた。

しかし、すでに指摘したような社会的諸条件の変化から、これまでのような父親像と母親像は、しだいに典型性を失うようになった。パーソンズのシエーマも、いささか古典的なものとなり、現代の家族や父親、母親の特徴を分析する道具としては、やや有用性を失ってきているとも言えるだろう。

父親は優しくていいのか

現代の父親は、いわば子どもにプレッシャーを与えない、優しい「友だちのような」父親だ。それに比べると昔の父親は、ある意味で無理をして、肩ひじを張ってせいっぱい父親役割を演じていた部分が多々あったと思われる。その意味で、現代の友だちのような父親像は、本人にはむろん子どもにとっても、一番幸せで自然な姿なのかもしれない。しかし父親が「友だち」である限り、ある意味でそれは子どもの「目標」とはなりにくいし、むろん反面教師の役も果たさないという問題点も生じてくるように思われる。

現代のように父親が父親個人として家庭の中で人間らしくおだやかに過ごせることは一つの幸せであろうが、もう一つ、家庭の中では「親」として子どものよき成長を生み出すという役割をもになわなければならないことを、どう解決していったらいいのだろうか。すな



わち父親は子どもにとってビッグな目標として、またある意味ではきびしい「社会」「世の中」「世間」を子どもの前でわかりやすく演じる者として、またある意味では、子どもに親たちの作った「巢」からとび立とうとする動機を与える存在として、「偉くてコワイ」役割を演じなくていいのだろうか、という疑問が残る。

父親は優しくていいのか、それとも子どもの成長のために、昔ほどではなくても、コワイ存在でなければならないのか。このことは今後のわれわれに与えられた、大きな課題であろう。

調査レポート／父親

千葉県立園生小学校教諭 上杉賢士
東京学芸大学助教授 深谷和子

要約

① 「たばこをあまり吸わないでほしい」

お父さんへの注文は、たばこのこと、そして「ちょっとのことですぐおこらないでほしい」という2点に集中した(表1)。



② 食事の時刻に間に合わない



父親の帰宅を待たずに夕食を始める家庭が56%、父親が夕食に同席するのが週に半分以下の家庭が61%。当然のことながら、父親を中心とした家庭生活は営みにくくなっている(図2)。

③ 「よくしゃべる」が、決定権をもたない

(「わりと」を合わせて)74%の父親が家ではよく話をしている反面、家族で相談する際に、父親の考えで決まるのは38%と、きわめて低率となっている。家庭における父親の存在が、それほどの重みをもたなくなった(図5)。



4

平日でも子どもとはよく話をする



(「わりと」を合わせると)65%の父親が、平日でも子どもと一応のコミュニケーションは保っている。勉強を教える父親も3割は、いる。子どもと父親との接触量は、思ったより低くない(図6)。

5

明るいお父さんのイメージ

ほぼ9割の子どもが、お父さんは「勇気があり」、「友だちが多く」、「心がやさしい」と肯定的に評価している。「がんでわからずや」といった古典的な父親像は、もうどこをさがしても、みあたらない(図10)。



6

お父さんは仕事に熱心だが、同じ職業につこうとは思わない



いそいそと仕事に励む父親には好感をもっているが(67%)、同じ職業につきたいとは思っていない(約5割)。職業人の代表としての父親の果たすべき教育的役割には、ここに問題があると思われる(図15、図16)。

サンプル数 (人)

学年/性	男子	女子	計
4年	373	315	688
5年	370	313	683
6年	366	332	698
計	1,109	960	2,069

調査概要

対象●千葉の小学4・5・6年生
 時期●昭和58年10月
 方法●学校通しによる質問紙調査

1. 家庭の中の父親像



家族という小集団の中には、2人のリーダーがいる。社会学者のパーソンズは、父親をひっぱり役の（目的達成的）リーダー、母親をまとめ役のリーダーとしてとらえ、また最近わが国では河合隼雄氏が、父親の果たす機能を「切る（価値評価する）」ことに、母親の機能を「包む（価値にかかわらず受け入れる）」ことにあると指摘している。

しかしわれわれの周囲にある最近の父親像は、そうした明確で典型性のある役割を家族の中で果たし得なくなっているようにも思わ

れる。しかしマンガの中に「ダメ親父」が登場し、けっこう共感をもって多くの読者に迎えられているようを見ると、ダメ親父と言っても本当にダメな存在としてではなく、むしろ昔にはなかった新しいタイプの父親像として、家族の者たちからは歓迎されているのではないかとも思えてくる。本当のところはどうなのか。例によって子どもたちのアンケート調査の中から、現代における父親の意味と役割を探ってみることにしよう。

お父さんへの注文

まず、父親に対して子どもたちが抱いている不満をひろってみよう。

表1は、調査サンプルの約1割、男子、女子各100名を無作為に抽出して、自由記述された「お父さんへの注文」を整理・集計した結果である。

男子17人、女子9人、計26人が「たばこをあまり吸わないでほしい」と注文を出し、同様に26人が「ちょっとのことですぐおこらないでほしい」と訴えている。また「お酒をあまり飲まないで」という声もある。酒やタバコへの声は、父親のからだへのいたわりなのだろうか。少なくともおとなの側からは、そう思いたい。しかし「おこらないで」「勉強をうるさく言わないで」の声は、やや母親化した父親の姿が子どもたちから反発されているようにも思えるし、「家において」「一緒に遊んで」の声は、あまりにも多忙で家族と過ごす時間すらない働き蜂の、日本の父親の日常をかい間見る思いもする。

また表2は、表1と同一サンプルの中から、事例としていくつかを取り出してみたものである。調査対象となった地域は、東京のベッ

ドタウンで、父親の約7割が、およそ1時間半程度をかけて東京を中心とした首都圏の職場に通勤している。そのせいもあろうが、子どもからの注文からは、仕事に疲れ、家庭ではかならずしもはつらつとしていない父親の日常が浮かび上がってくる。とくに女の子の反応からは、そうした父親に同情と共に一種のいらつきを感じているようすも見てとれる。とくに最後のケースの「もっときびしくしてほしい。きびしくおこられても仕方ないと自分では覚悟していても、ほとんどおこらない。なんだかたよりない感じ」の声が、われわれの胸につきささる。昔のように「切り役専門」のきびしい父親を求めるのではないが、「必要な時には」切り役を演じてくれる人は、時代にかかわりなく、子どもの成長過程に必要なのではないか。

それでは、子どもたちのこうした注文は、父親の姿のどんな部分に着目してのことであろうか。具体的に、家庭における父親の生活ぶりを探ってみることにしよう。

表1・お父さんへの注文(その1)

男 子	女 子
1. たばこをあまり吸わないでほしい (17人)	1. ちょっとのことですぐおこらないでほしい (15人)
2. ちょっとのことですぐおこらないでほしい (11人)	2. たばこをあまり吸わないでほしい (9人)
3. あまりお酒をのまないでほしい (9人)	3. 休みの日はもっと家にいてほしい (7人)
4. 人前で平気でおならをしないでほしい (8人)	4. あまりお酒をのまないでほしい (5人)
5. もっと一緒に遊んでほしい (5人)	5. 「勉強しろ」とあまりうるさく言わないでほしい (3人)

※男女各100人を抽出、集計した結果

表2・お父さんへの注文(その2)

- ♫ 仕事の都合で仕方がないけど、来られる日はできるだけ家に来てほしい。
- ♫ 会社でいやなことがあっても、家ではきげんを悪くしないでいつもニコニコしてほしい。
- ♀ 人の心配ばかりして、自分の事を考えないので、体だけは大切にしてほしい。
- ♀ お母さんが何か言って私をおこると、すぐそれに同意して一緒におこる。
- ♀ 家に帰ってくる時、とてもつかれた顔をしないでほしい。
- ♀ あまり仕事をがんばらないで、すこし休んでほしい。
- ♀ だらしがない。あまり運動しないで、ぐうたらぐうたらしている。食事中おならをする！ 自分の見たいテレビがあると子どもが見ていてもチャンネルを回す！
- ♀ 朝、洗面所で顔を洗う時、はみがきのチューブのふたをしめなくせに、私にはうるさく言う。おなじく洗面所で髪の毛をとかして、髪の毛をすっごくいっぱい落として、流さない！
- ♀ もっときびしくしてほしい。きびしくおこられても仕方がないなど自分では覚悟していても、ほとんどおこらない。なんだかたよりない感じ！

* 仕事場が本拠地で(単身赴任?)、家にはたまに帰宅する?

お父さんの生活スケジュール

図1は、父親の在宅時間を確かめるために、出勤時刻と帰宅時刻を表したものである。8割が午前7時以前に起床し、7割が7時半には家を出る。学校の始業時刻を8時とすれば、子どもたちが家を出るころには、すでに大半の父親は出勤してしまっている、という計算になる。しかし、帰宅時刻を見ると7割は午

後9時以前に帰宅している。毎日父親と夕食を一緒にとれる子は3分の1程度だが、それでもけっこう1時間程度の接触時間は、たいていの子どもがもっているようすである。これは思ったより長いとみるべきか。それとも少ないとみるべきなのだろうか。

図1・お父さんの生活スケジュール

	(%)				
起床時刻 (午前)	6時以前	6時半	7時	7時半	8時以後
	32.0	24.7	23.3	10.1	9.9
出勤時刻 (午前)	6時以前	6時半	7時	7時半	8時以後
	5.2	10.8	24.2	31.0	28.8
帰宅時刻 (午後)	7時まで	8時ごろ	9時ごろ	9時以後	
	36.3	16.2	20.3	27.2	

食卓の風景

それでは、父親を中心として、食卓のようすはどうなっているのか、図2を見てみよう。まず、94%の家庭ではほぼ父親のすわる位置がきまっており、おかずの量も、84%の家庭で父親が優遇されている。しかし、よそう順序は特にきまっておらず(67%)、子どもが先に食べてもしかられない(94%)傾向にある。これは父親が夕食に同席する日が週に半分以下という家庭が半数を超える(61%)こ

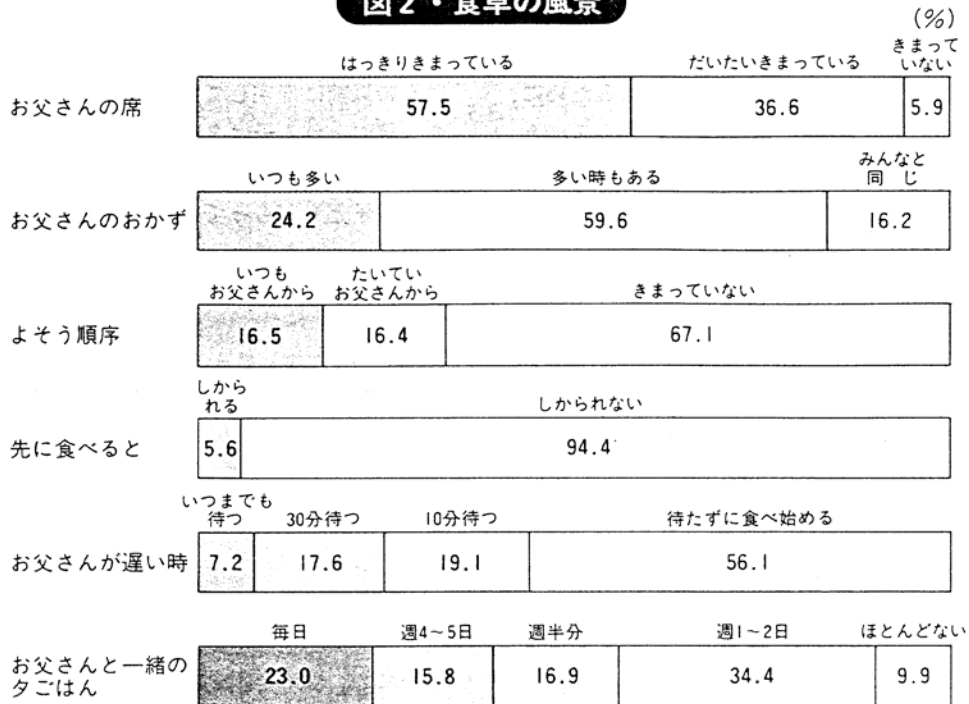
とに起因する点もありそうだ。帰宅時刻が一定せず、いつ帰ってくるかわかりにくい父親を待って夕食という原則は、家庭のタイムスケジュールには組み込みにくいのであろう。そのため、父親の帰宅を待って食べ始めるという家庭は極めて低率となっている(7%)。

リーダーとしての父親に対する期待はそれなりにもたれているものの、当の本人がその席をはずしがちなため、父親不在のまま食卓

の風景が展開していき、しだいに父親ぬきで家庭生活が営まれていって、父親像もかすみ

がちになるというのが、平均的な現代の家庭像かもしれない。

図2・食卓の風景



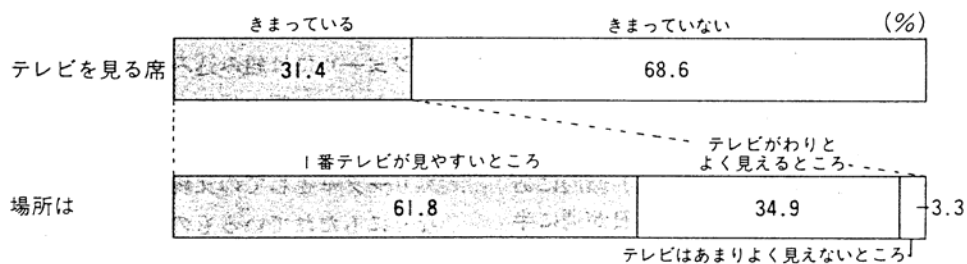
テレビを見る時

次に図3は、家族でテレビを見る時の父親の位置を確かめたものである。

約3分の2の家庭では、食卓とは違って、父親がテレビを見る席はきまっていない。しかし席がきまっている場合はそのほとんどが(97%)、テレビを見やすい席に父親がいる。この3分の1という数字は、図2の父親が週

4~5日以上夕食に同席するという数字(39%)とほぼ一致している。これは父親がいつも家であれば、それなりの対応を家族がするという事情を示しているとも考えられよう。あらためて、父親の在宅時間の長さが重要な意味をもつことに思いあたる。

図3・父親がテレビを見る時



お父さんの持ちもの

こうした事情は、図4からも読みとれよう。カメラ、本箱のように、それほどスペースをとらないものは別としても、総じて在宅時間の短い現代の父親には、机、部屋といった父

親の城を形成するものが用意されていないようである。物理的な意味に限定しても、どうやら現代の父親は、家庭内に確固とした自分の場をもっているとは言えないようである。

図4・お父さんの持ちもの

	ある	ない (%)
1. カメラ	61.0	39.0
2. 本箱	53.8	46.2
3. 机	28.7	71.3
4. 部屋	28.1	71.9
5. テレビ	16.1	83.9

家族の一員としてのお父さん

この章の最後に、図5を見ながら家族の一員としての父親像にもう一度接近してみることにしよう。

まず、すでにみてきたように、平日には極めて限られた時間しか家にいない父親も、日曜日となると、「わりといる」も含めて76%が家庭で過ごしている。しかも、「黙して語らず」という古典的な父親像ではなくて、74%の父親が、家でよくしゃべる快活な父親ぶりを示している。もっともこれは、すでに表2に示したような、「つかれた顔をしないで」という子どもからの注文に応じて、快活さを演じているだけなのかもしれないのだが。

ところが家族で何かを相談する際の決定権をみると、「たいてい」も含めて38%という

数字が示す通り、父親が他の家族とほぼ同じくらいの力の重みしかもたないようすなのは、なぜだろう。団塊と称される戦後のベビーブームの時代に生まれた世代がニューファミリーを形成し、その子どもの多くは学齢に達しつつある。ニューファミリーのイメージにある「快活でやさしく友だちのようなお父さん」像をはからずもこのデータが浮き彫りにしたようでもある。昔のように父親がほぼ全ての決定権を握るという家族構造がかならずしも健全だとは思われないが、しかし、家庭がそれなりの教育機能を維持しようとする時、父親が家族の中でリーダーとしての役割を全く演じなくなってしまってそれでいいのか、大いに考えさせられる結果ではなからうか。

図5・家族の一員としての父親

	(%)			
	いつもいる	わりといる	わりと いない	いつも いない
日曜日は家にいるか	23.9	52.2	14.0	9.9
	とても しゃべる	わりとしゃべる	あまり しゃべらない	ほとんど しゃべらない
家でよくしゃべるか	17.3	57.1	23.8	1.8
	お父さん	たいていお父さん	みんな	子どもや お母さん
家族で相談する時だ れの考えでできるか	5.6	32.1	54.2	8.1

2. 父親との接触度



このような現代の家庭における父親の影のどことない薄さは、どうしてもわれわれの心にひっかかる。こうした父親たちの、子どもの教育に対する役割はどうなっているか気に

なるところであるが、その問題についての考察は次章にゆずって、まずここでは、父親と子どもたちとの具体的な接触の量と中身について、細かく分析しておきたい。

お父さんと一緒にすること

まず、子どもたちが父親とどんな遊びをしているかをながめてみよう。

表3の左側半分に示したように、男子は圧倒的にキャッチボールが多く、以下、ゴルフのおとも（練習場？）、サッカー、すもう、レスリング（ふざけっこの意味も？）、バドミントンなど、主としてスポーツが多い。しかし、右側の女子でもこの傾向は同じで、バド

ミントン、キャッチボール、テニス、サッカー、散歩、ゴルフなど、やはり一緒に体を動かしている。父親の役割とは、男女を問わず、子どもとスポーツをする点に大きな意味があるのかもしれない。またスポーツ以外の遊びでは、ゲーム類がほとんどだ。スポーツにしろゲームにしろ、これらの遊びは、競争し合う性格を強くもっている。現代の父親は、こ

うした場面で子どもを「切る」役割を演じようとしているのかもしれない。むろん父親が子どもに胸を貸すのが、こういう遊びの世界の中であっても、それはそれなりに結構である。母親とは違った役割を、子どもの成長に果たすことは、非常に大切なことである。

さて父親との接触を、遊びだけでなくもっと全体的にとらえてみたのが図6と図7である。

図6で平日の接触を見ると、お父さんと「話をする」が、「たいてい」「わりと」を加えると65%と、意外な高率を示す。図7の休みの日には、さらにこの接触の度合いはグンと増し、「わりと」を含めて、「夕ごはんを一緒に食べる」が93%、「朝ごはん」は75%、

「話をする」が76%、「遊ぶ」が47%などという結果となっている。

ひところ、世代間の感覚のズレ、価値観の相違を問題視し、「親子の断絶」が社会的な問題だとされた。そうした問題への対応がそれぞれの父親の個人的な努力でなされようとした結果であろうか。このデータを見る限り、全体として意外に子どもたちと父親との接触が行われている。むろん、どの項目にも「ほとんどしない」とする者がいるし、とくに休日の場合でも「2人で出かける」「遊ぶ」は、「ほとんどしない」「あまりしない」を合わせると半分を超えてしまっている点が気になるが、全体としては、多忙なわりにはまあまあ接触ぶりとみることができらるだろう。

表3・お父さんと一緒にする遊び

男 子		女 子	
①. キャッチボール	56 (人)	①. バドミントン	31 (人)
2. しょうぎ	13	2. トランプ	23
③. ゴルフ	9	③. キャッチボール	22
4. トランプ	8	④. テニス	9
④. サッカー	8	5. しょうぎ	8
⑥. つり	7	6. オセロ	7
6. ゲーム	7	⑥. サッカー	7
⑧. すもう	6	⑧. 散歩	6
⑨. レスリング	5	9. マージャン	4
⑩. バドミントン	4	⑩. ゴルフ	3

※ 男女各100人を抽出、集計した結果(複数回答)
 ※ それぞれ2つずつ記入させた
 ○印はスポーツ

図6・お父さんと一緒にすること(平日)

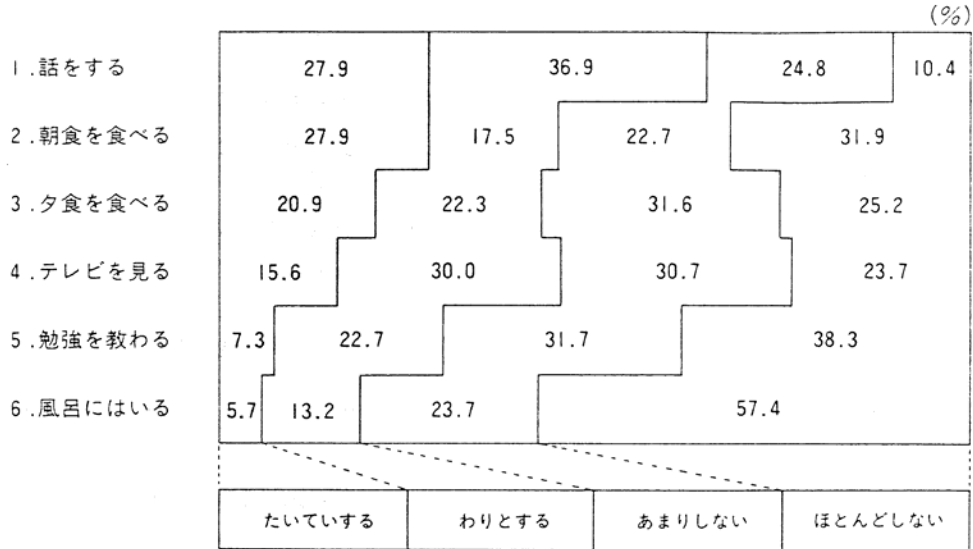
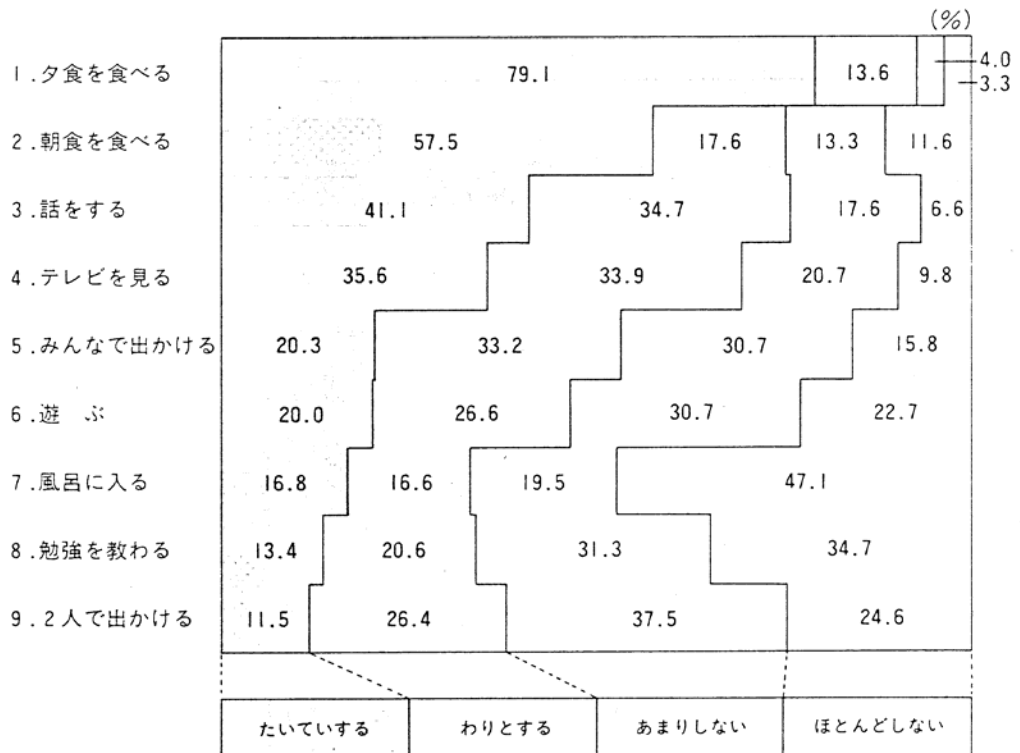


図7・お父さんと一緒にすること(休日)



お父さんとの話題

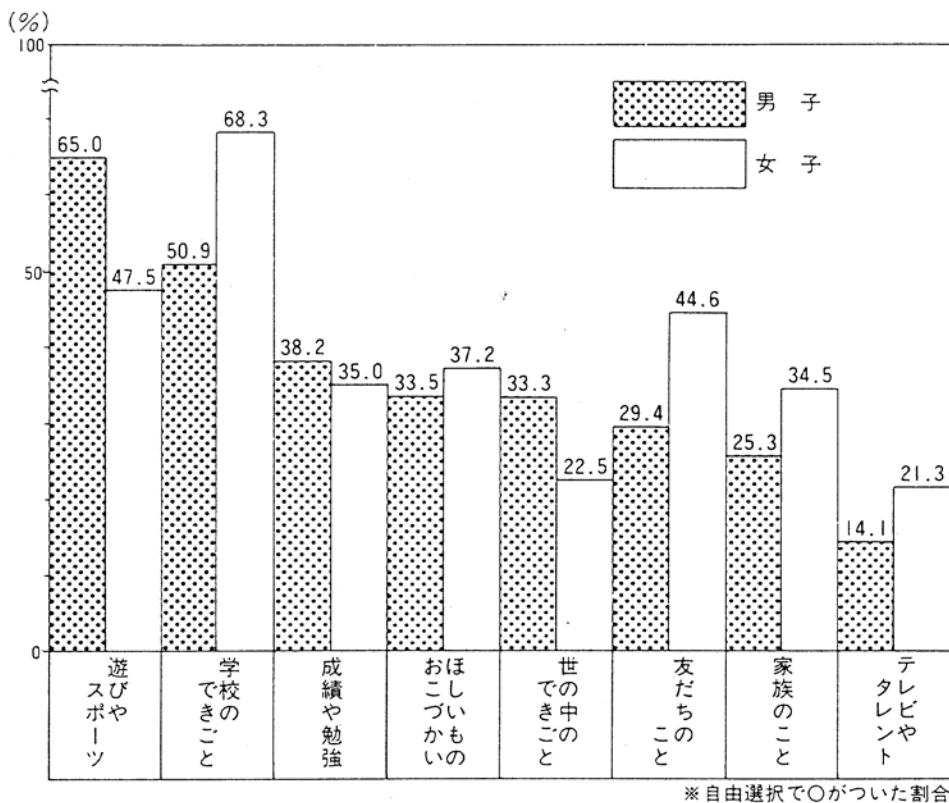
次に、平日でも65%の子どもが父親との会話をかわすという接触の中身について、目を向けてみよう。

図8は、話題の中身として用意した8項目について、よく話をするのがらについて無制限に○をつけさせた結果である。

グラフから読みとれる通り、男子では遊びやスポーツのことが65%とトップを占め、女の子は学校でのできごとが第1位となっている。それ自体は子どもの友だちの1人として、まあけっこうなことだが、父親が職業人の代表として、子どもに社会との接点をもたらす役割にあるとすれば、ここではむしろ「世の

中のできごと」についての話題が、男女それぞれ33%、23%と低率にあることに問題を見いだすべきかもしれない。子どもを「包む」役割を負う母親であれば、子どもたちの身近におきた話題とそこでの喜怒哀楽が会話の中心に置かれてもいいかもしれない。しかし、子どもの社会性の発達をうながし、そのために教育的機能を果たしていく役割を負う父親が、母親と同質の役割を子どもに果たそうとすることに疑問を感じないわけにはいかない。父親は、もっと母親とは違う役割を果たそうとする構えを、意識的にもつべきではなからうか。

図8・お父さんとの話題



子どもをどのくらい知っているか

さて、思ったよりは多い接触の結果として、子どもたちは、父親が自分のことをどのくらい知ってくれていると思っているのであろうか。その結果についてまとめたのが、次の図9である。

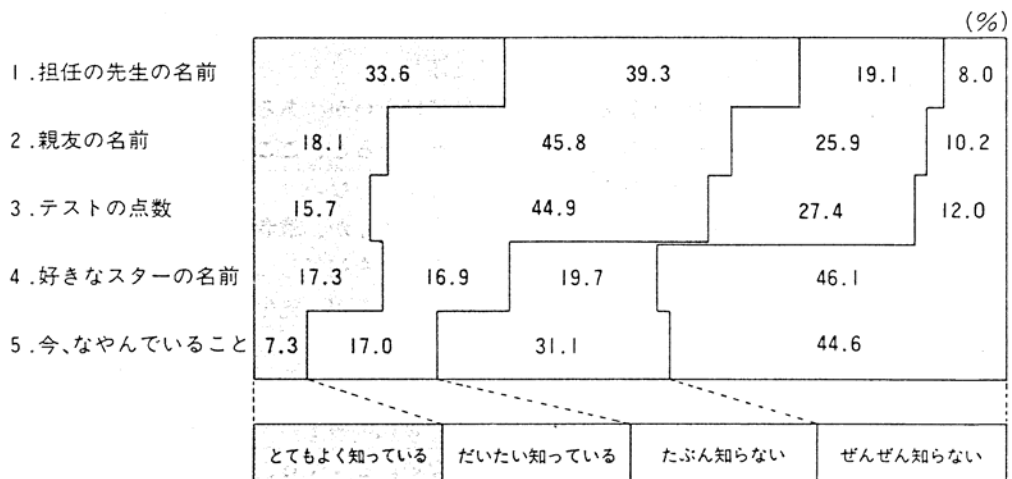
父親は、担任の先生の名前はもちろん(「だいたい」も含めて73%)、親友の名前(64%)も、そしてテストの点数(61%)までもほぼ知っていると、子どもたちは思っているようである。

これらを本当に父親が知っているかどうかは別として、少なくとも子どもたちは父親を、「多忙で自分のことをちっともかまってくれない人」「自分については、全く何もわかっていていない人」と思っているのではないことは、確かなようである。少なくとも小学生段階では、父親と子どもの心理的距離は、かなり十分に近い印象も受けるのである。父親が子どもにとって友だち化してきているとい

われるのは、どうやらこれらのデータからしても、確かなようである。

以上、本章では、子どもと父親との接触の度合いを調べてきた。そこには、筆者らが調査前に想定した数値をかなり上回る結果があらわれた。第1章でみてきたように、家庭内における父親の姿は今ひとつパワーがなく、かつてのような家族の大黒柱というイメージには大きく欠けるものようであった。しかし本章でみてきたように、その代わり父親たちは、限られた時間の中でせいっぱいの努力をしながら、子どもとのコミュニケーションを保とうとし、子どもの「友人役」を果たそうとしている気配がある。それでは、そうした父親たちの努力の結果、今日の父親はどのようなイメージでそれぞれの子どもの心の中に住んでいるのだろうか。それを次章でみてみよう。

図9・お父さんはどのくらい知っているか



3. 子どもの抱く父親像



お父さんのイメージ

まず、図10は、(心理学でよく使われるSD法を用いて)子どもたちの中にある父親像をとらえようとした結果である。図の左側は肯定的、右側は否定的な評価という形で構成してある。

グラフに明らかなように、父親に対するイメージは、全体として極めて明るく、肯定的にとらえられている。冒頭に紹介した子どもたちからの父親への注文の内容と比べると、少なくとも量的には、「ダメ親父」というイメージはどこからも感じられず、子どもたちの眼に映る父親は「勇気がある」「心がやさしい」「たよりがいのある」存在で、文句のない「満点パパ」像を示している。下位に並ん

だ項目をみても、それほど頭がいいというわけではないが、ある程度のきびしさはもち合わせていると、ここでも肯定的な評価はほとんどゆるがない。

余談めくが、筆者の1人(上杉)が、小学校1年生を担任した時のことである。「自分のお父さんが、先生よりも背が高い人は？」という問いに、半数を超える子どもたちが元気よく手をあげた。担任の身長は182cm。団塊の世代の男子の平均身長がそれほどとは思えない。どうやら、子どもたちの中にある父親は、実像をかなり上回ってビッグなものであるらしい。このエピソードが示すように、子どもたちが、父親にある種の「大きさ」を

感じているのは昔も今も変わらないことのようにである。父親は、男の子に対しては、乗り越えるべき対象としての意味をもつはずであるから、それが大きく映れば映るほど、成長をうながす刺激としての意味をもってくると思われる。

それでは、こうした明るい父親像が、何からでてくるかを確かめるために、2つのクロス集計の結果を紹介しよう。

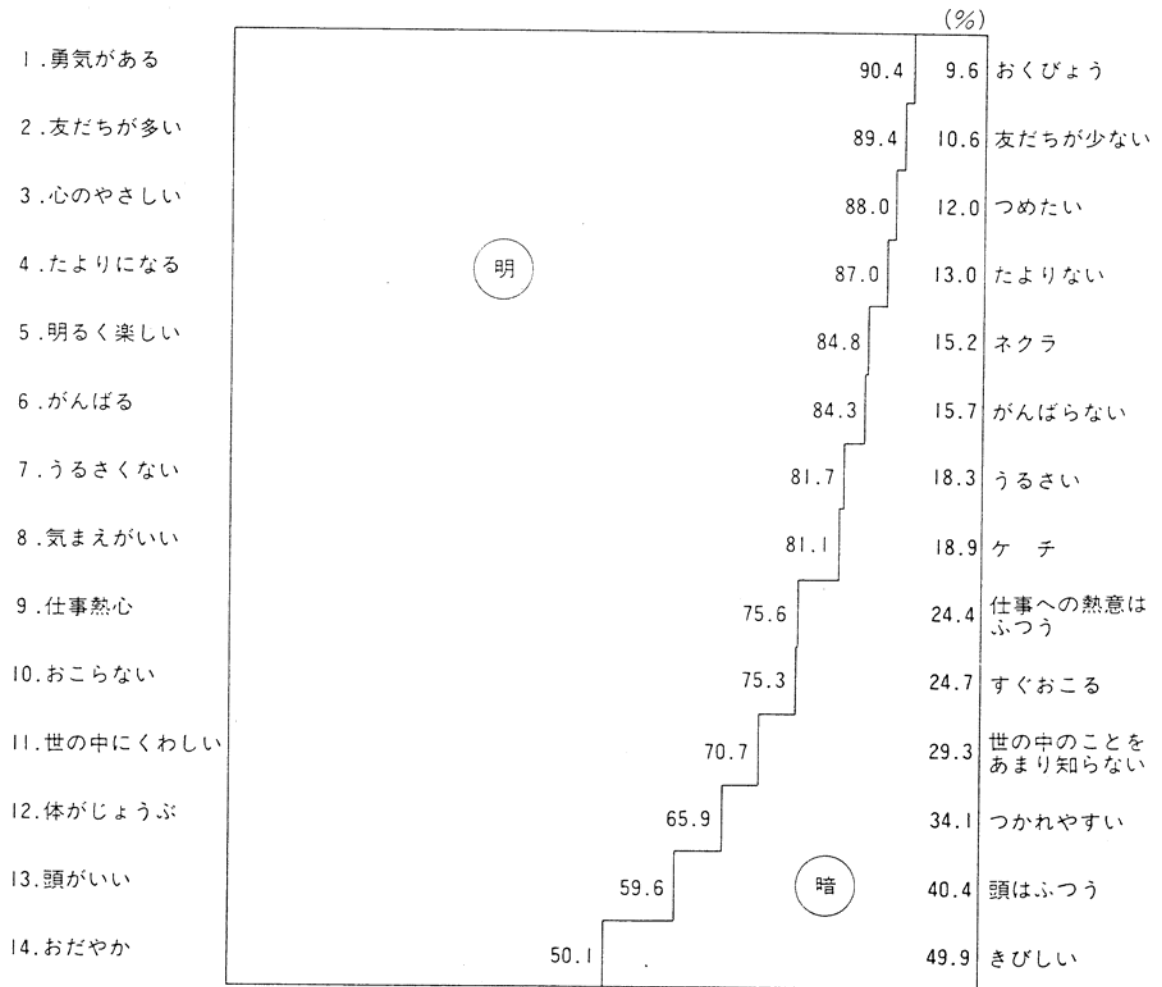
図11は、父親と夕食を食べる日数と父親の

イメージをクロスさせた結果である。

ほとんど毎日父親と夕食を一緒にする子どもの92%が、父親を「勇気がある」と評価しているのに対して、逆に夕食をほとんど一緒にしない子どもは、87%である。以下同様に、いずれの項目においても、父親との接触度の高い子どものほうが、そうでない子どもより、多少とも父親を好意的に評価する傾向にある。

また次の表4は、学年差と性差をみたまものである。父親が子どもにとって乗り越えるべ

図10・お父さんのイメージ



き対象としての存在であるとすれば、子ども自身の成長によって、父親との距離が縮まることが考えられる。そして、このことは、相対的に父親の評価を下げる結果となるかもしれない。しかし、こうした視点から表4の結果をながめてみると、学年を追っても、ほぼ評価は一定しており、逆に下位に位置する「世の中にくわしい」では、ほぼ10%ずつの上昇という結果となっている。

これはおそらく、本調査の対象である小学校の4、5、6年の段階では、まだ父親との心理的離乳ができていないことを示すものかもしれない。しかし、少なくとも6年生については、もうすこし青年期的な、父親への反発や否定が芽生えてきてもいいように思えるのである。「友だちのようないいお父さん」がかえって子どもの心理的成長をはばんでいることにならなければいいのだが。

図11・一緒に夕食を食べる日数×お父さんのイメージ

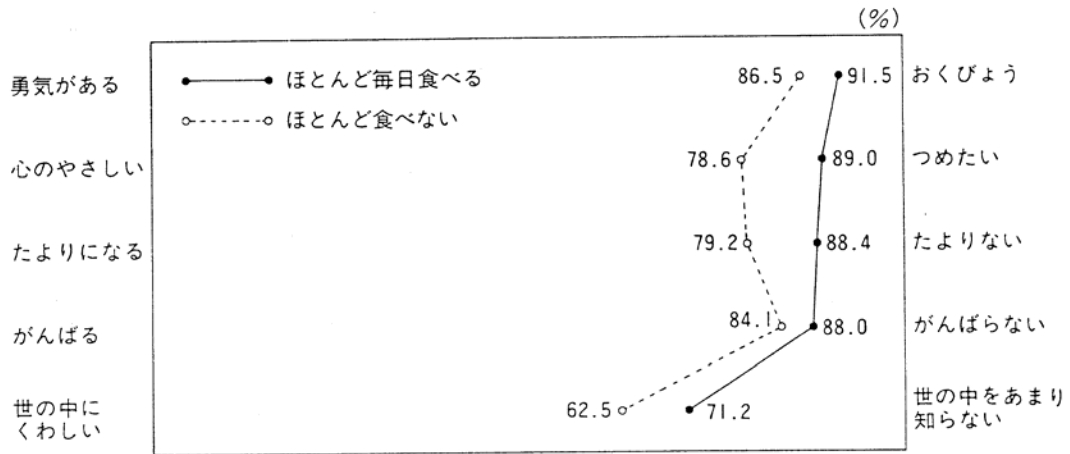


表4・学年・性×お父さんのイメージ

	学 年 別			性 別	
	4 年	5 年	6 年	男 子	女 子
1. 勇気がある	91.5	90.2	89.5	90.6	90.2
2. 心のやさしい	86.6	88.3	89.0	85.6	90.7
3. たよりになる	87.7	87.2	86.3	86.1	88.1
3. がんばる	86.3	84.2	82.6	84.1	84.6
5. 世の中にくわしい	60.7	71.1	80.3	67.9	74.0

相談相手としてのお父さん

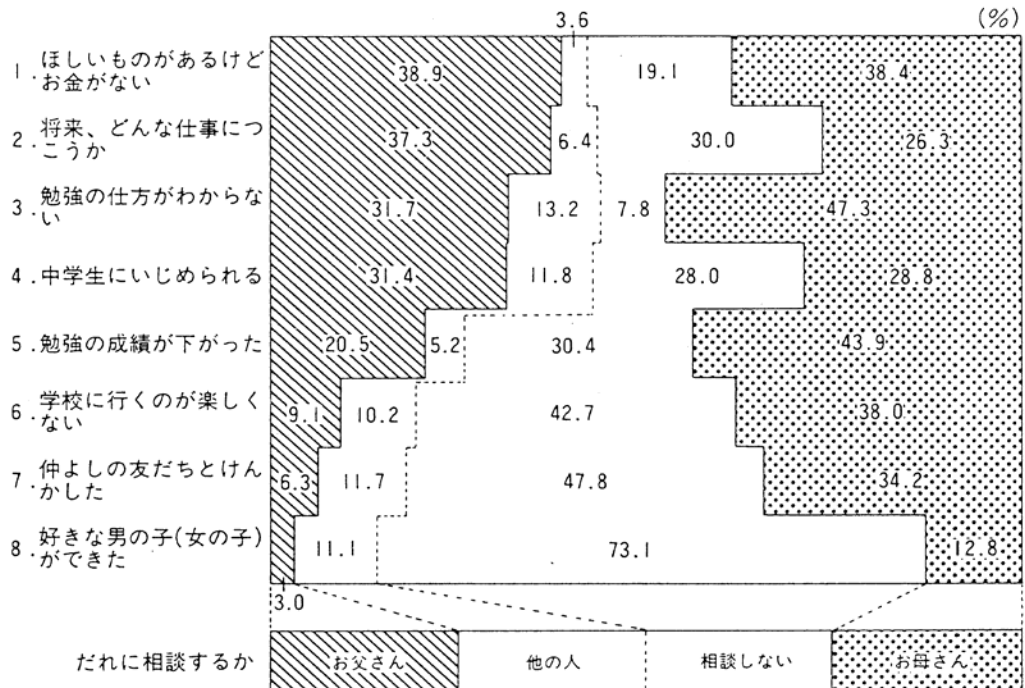
さて、たよりがいがあると父親を評している子どもたちは、実際に父親をどれほど頼りにしているのでしょうか。図12は、その点について明らかにするために、困った時に誰に相談するかをたずねた結果である。

図の左側に父親を、右側に母親を並べたので、両者を比較しながらみてみよう。全体としては、母親よりいくぶん相談をもちかけられる比率が低いとはいえるものの、意外にも、父親はけっこう相談相手とされていることが読みとれよう。

また次の図13は、先ほどと同様に、父親との接触量と相談をする割合をクロスした結果である。用意した8項目全てにわたって、「ほ

とんど毎日夕食をともにする」子どもたちのほうが、父親に相談をもちかける割合が高い。接触の機会が多ければ、相談することも多くなるのは当然のことかもしれないが。また図14は、逆に父親との接触度と、悩みがあっても「誰にも相談しない」子どもの割合をクロスさせた結果である。父親と夕食をともにする機会の少ない子どもは、誰にも相談しない割合が高い。図13、14の2つのデータを結んで解釈すると、父親と夕食をともにする機会が少なく、父親に相談できない子どもは、誰にも相談しない割合が高いということがいえる。つまり子どもたちは、悩みによっては、相談相手は父親でなければならないという、

図12・相談相手としてのお父さん



かけがえのない存在としての役割を、父親に期待しているのかもしれない。

ここに、父親としての教育的役割の可能性をかい間見ることができるようにも思う。

図13・一緒に夕食を食べる日数×お父さんに相談すること

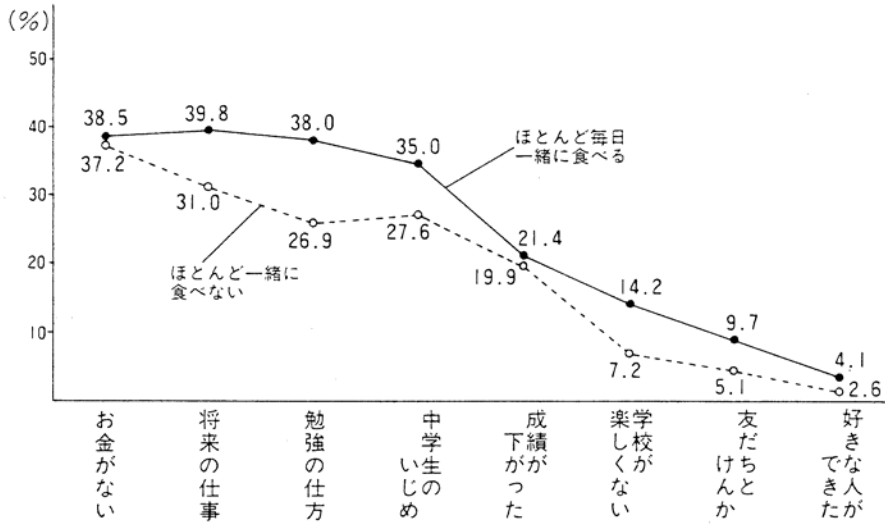
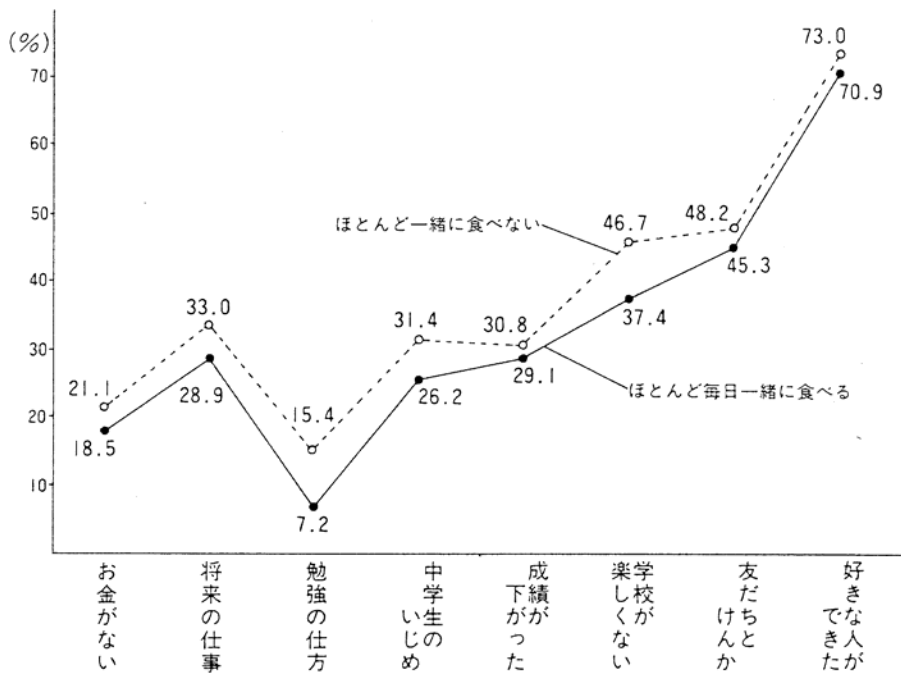


図14・一緒に夕食を食べる日数×だれにも相談しないこと



まとめに代えて

目標にならない父親

子どもの中の父親像を探ってきたところで、最後に、それでは父親をトータルとして子どもたちがどう評価しているかにふれてみることにしよう。

まず、図15は、「お父さんは幸せだと思いますか」「お父さんは、今の仕事が好きだと思いますか」という2つの問いについての結果をまとめたものだ。

「とても」「わりと」を合わせると、77%の子どもが、父親は幸せであると感じ、67%の子どもが、父親が仕事に生きがいを感じていると思っている。

しかし、その一方で、これほど幸せそうに見える父親に対して、図16に示したように、ではあなたは、将来お父さんと同じ仕事につきたいかとたずねられれば、かならずしも自分は父親と同じような生活をしたいとは思っていないようすがみられる。

職業人の代表として社会生活の意味や厳しさを伝える役割、家庭における「切る人」としての教育的役割と、子どもに対して果たすべき父親の役割を整理すると、これまでながめてきたデータからは、いくつもの問題が発見される。

まず、あれほど好意的に父親を評価したにもかかわらず、どこか自分とははなれた外側の存在として、自分を深く関与させていないという子どもの実態である。父親は幸せだと

評価する一方で、将来自分は同じ生活をしようとは思わない。すなわち、「目標」になりえない父親がある。父親によって同化の対象を獲得できない子どもたちは、これから先それをどこに求めようとするのだろうか。

また、家庭では快活にふるまいながらも、それほど決定権をもたないという父親の姿が、子どもに対してどんな意味をもつのだろうか。家庭における民主主義といえば聞こえはいいのだが、家庭はあくまでタテの人間関係によって構成される。友だちのような先生が歓迎されるのと同様に「友だちのような父親」が出現した時、子どもたちは、服従や反抗などという、人間関係においてなくてはならない負の体験（現在の子どもたちの状況を見渡す時、この体験がきわめて重要だと思うのだが）をどこですればよいのであろうか。

こうして、あらためて問題を整理してみると、子どもたちの成長過程で、子どもをとりまくさまざまな立場の者たちが、それぞれ個有な役割を果たしていくことが、きわめて重要であることに気づかされる。友だち、教師、地域社会の者たち、母親、そして父親と、今回の調査のテーマを超えることを承知で言えば、あらためてそれぞれの立場が、子どもの成長に対していかなる役割とバランスを保つことが必要であるか、再考する必要があるように思われてならない。

図15・お父さんの暮らし

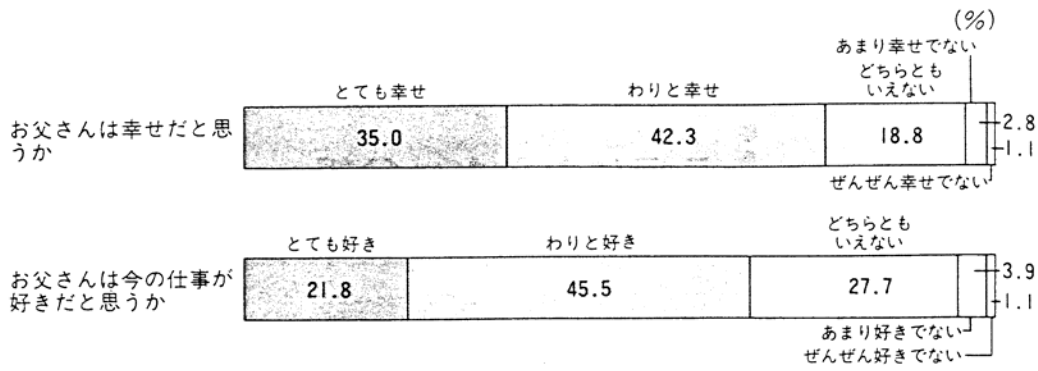
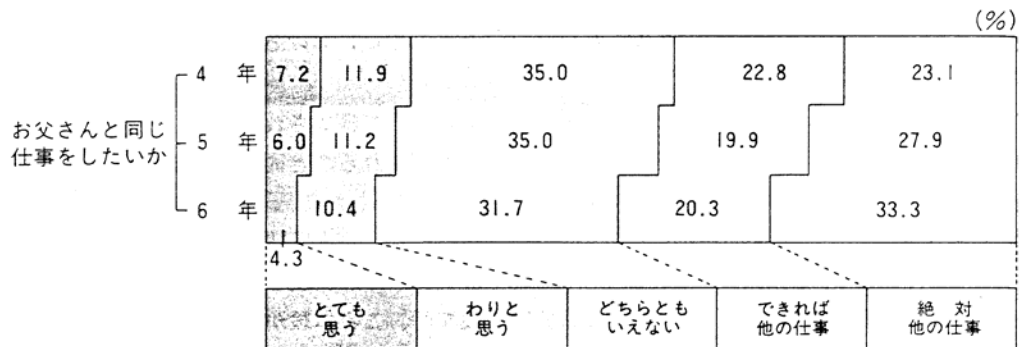


図16・学年別×あなたは父親と同じ仕事をしたいか



講座●																					
子ども調査入門③																					
面接調査																					
																					●放送大学教授
																					●深谷昌志

面接調査にも枠組が必要

アンケート調査はむずかしそうだが、面接調査ならできるという人が多い。たしかに、アンケートともなるとコンピューターやらパンチカードなどといった面倒なのがイメージに浮かんでくるが、面接調査に必要なのはメモ用紙とえんぴつくらいにすぎない。しかも面接は、時間をかけて相手の話を聞くので、どのような聞きとりであっても印象に残り、それなりの重みをもつ。

しかし、誰にでもできそうだということは、やさしさを意味していない。というより、面接調査は、アンケート調査などより奥が深く、技術的にもむずかしい。

具体例をあげて考えてみよう。テレビ視聴の実態を調べてみたいとする。しかし、漠然

とテレビの見方をたずねても、はっきりとした答えを期待できまい。何を明確にしたいのかがわからなくては、答えるほうも話しにくいのが当然である。

ひとくちに子どもとテレビと言っても、聞きとりたいアイテムとしてちょっとあげるだけでも、以下のような内容が浮かんでくる。

- 1 きのうの視聴行動
- 2 きのう見た番組への評価
- 3 テレビを見ている時、家族で話し合うか
- 4 好きな番組のジャンル
- 5 いつも見ている番組とその理由
- 6 タレントの好き嫌い
- 7 家庭のテレビ環境
- 8 テレビ視聴についての母親のコントロール

9 親たちのテレビ視聴情況

10 テレビと家庭学習との関係

しかも、面接調査は、アンケート調査では聞きにくい心のひだをこまかくたずねるのを狙いとしているのであるから、上記の10アイテムにしても、その中がさらに細分化される。

「きのうの視聴行動」を例にとっても、「きのう、テレビは何を見たの」とたずねるだけでは、子どもたちは「覚えていない」とか、「ザ・ベストテンを見た」くらいの返事しか返ってこない。そこで、時間帯を追う形で、こまかく昨日を復元していく。

「3時半ごろ家へ戻り、5時にそろばん塾へ行くまでちょっと時間があつたので、居間でおやつを食べながら、テレビを見た。おもしろくないので、よく覚えてないけれど、4時からは水戸黄門だった。妹がそばにいたので、ふぎけっこしながら見ていたから、始めのところの筋は覚えていない。でも、悪いやつはひと目でわかるから、途中から見ても大丈夫なんだ」

というような話を聞きだせれば成功であろう。アンケート調査ではつかみにくい一人ひとりの生活スタイルが浮かんでくる。

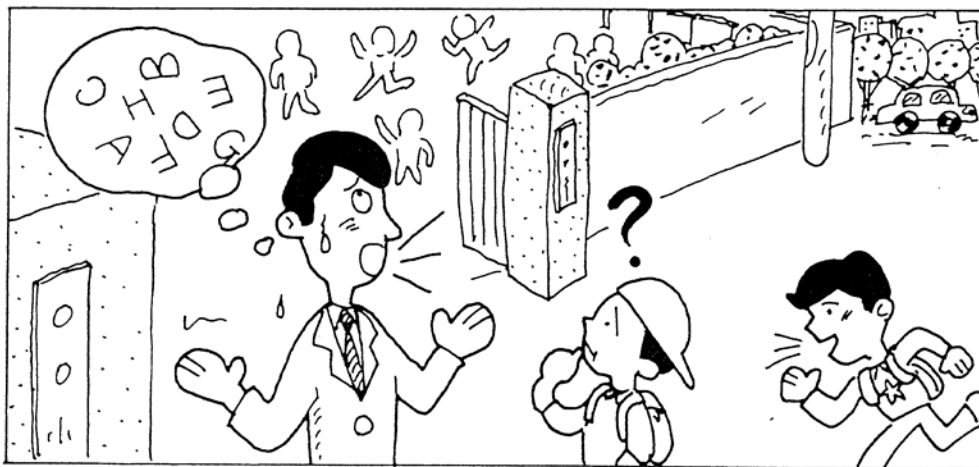
もっとも、こうした聞きとりをするためには、被面接者が心を許して話してくれることが前提となる。つまり、面接調査が成功する

かどうかは、被面接者がのびのびと話してくれるかどうかにかかっている。それと同時に、関心をひく話題が出てきたら、それを思いきって掘り下げ、納得のいくまで聞きとる態度が、聞き手にのぞまれよう。

そうした意味で、面接調査には、相手によって質問内容を変える柔軟性が必要であるし、それが面接調査の長所でもある。しかし、すでにふれたように、子どもとテレビといっても、質問したい項目が多く、ゆきあたりぼったりになずねても、大事なことを聞きもらす可能性が強いので、やはりあらかじめ質問の枠組を設けておく必要がある。というより、面接にあたって、質問したいことをきちんとおさえておく。特に、どういう目的でどういう内容を聞きとりたいのか明確にしておく。ただし、質問の順序、あるいは強弱などは、その場の雰囲気に応じて、さしかえてもよいという程度に枠組をゆるやかに設定しておくのが妥当であろう。

インタビューをたのむ場合

聞きとりは、1人の人がするのが原則であろう。同じイメージでたずねていけるので、データの質が揃いやすい。しかし、1人の面接にかなりの時間を要するので、ある程度のサンプル数を集めるためには、協力者を求め



ぎるをえない。そうした時には、インタビューによって聞く内容がばらばらにならないように、先にふれた枠組をこまかくかみくだいたインタビュー・ガイドを作成する必要がある。具体例をあげるなら、

① きのう見た番組は、別に用意してあるテレビ欄を見せながら、時間を追う形で聞きとる

② そのさい、一緒に見た人がいるかどうかたずね、いる場合、どんな話をしていたかを聞きとる

③ 見た番組については、初めから見つもりであったかどうかをたしかめる

④ 番組について、それぞれ別紙1を提示して、おもしろい、役に立つ、ためになるなどの評価を求める

のような形となる。それと同時に、インタビューを依頼する場合、フェース・シートを含めて、聞きとり用の用紙を準備しておくことが望ましかろう。例えば、フェース・シートは、以下のような形式となる。



「子どもとテレビ」調査整理票

児童名() サンプルNo.()

① ()学校()年()組
(男・女)

② 面接日 昭和()年()月()日

③ 面接者 ()

④ 家族

父 仕事()

母 仕事()

姉 人()年 兄 人()年

妹 人()年 弟 人()年

祖父母 ()

⑤ TV台数 ()台

⑥ 学習塾 なし あり…週()回
()年生()月から
けいこごと()週()日
()週()日
(以下略)

こうした用紙を下書き用と清書用と2部ずつ与え、聞きとりをする時には、下書き用を使用するように指示しておく。

さらに、調査の開始に先だて打ち合わせ会をもち、調査の狙いを十分に伝えるとともに、調査に積極的な関心をもってくれるように働きかけることも、調査をスムーズに進めるために必要となる。

面接調査で留意したいこと

このように、自分だけで面接をするか、それとも他の協力者を求めるかによって、面接に要する準備の程度がこととなってくる。しかし、いずれにせよ、被面接者の話を聞くのは共通なのであるから、面接にあたっての留意事項を列挙しておこう。

① まず、くつろがせる

被面接者は、程度の差はあるにせよ、緊張しているから、いきなり本筋へ入るのは望ま

しくない。面接者に親しみの気持ちをもて、自分の心情を話そうという気持ちになってもらうことが必要である。そのためには、「けさ、何を食べてきたの」、「元気そうだね、スポーツが得意なんだろう」のように、さりげない話題から入って、被面接者をくつろがせる態度が必要となる。

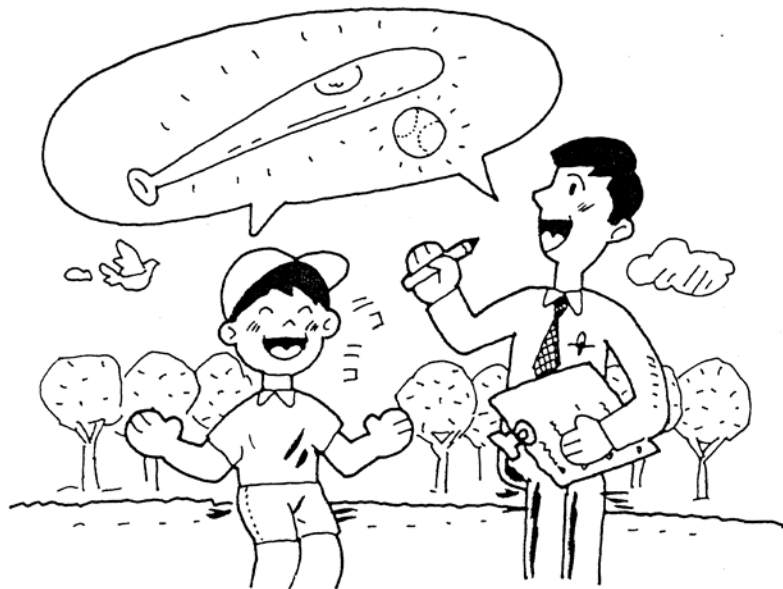
② 聞きとりは長くても30分を目安に

そうはいつても、ポイントをつかんで質問していかないと、時間だけが過ぎてしまう。そして、被面接者のほうも疲れてきて、鮮度のよい話が出にくくなる。そこで、聞きとり

は、できたら20分、長くとも30分を一応の目安としたい。それ以上長びきそうなら、「とても良い話が聞けたので、悪いけれど、もう少し話してくれる」のように、被面接者の同意をとりつけよう。その反対に、被面接者の話が脱線しがちなら、「ところで、さっきの話へ戻るけれど」のように、折りをみて、軌道を修正していくことも必要となる。

③ 良い聞き手に徹する

面接は、相手の心の内を聞きとるのを目的とする。したがって、被面接者の気持ちをひき出すのに全力を注ぎたい。基本的には、臨



床心理学でいう非指示的な態度に徹したい。非指示的のくわしい点は専門書にゆずらざるを得ないが、名の示す通りに、指示を避けることを意味する。

「きのうのテレビはつまらなかった」という話に、「つまらなかったね。それから、どうしたの」のように、相手の気持ちを受けて、それを発展させる形をとる。被面接者が子どもであっても、インタビュアーが自分の意見をのべるのは極力避けたい。まして、相手を叱ったり、議論をかわすなどは論外と言わざるを得ない。

④ 誘導尋問をしない

被面接者によっては、口が重い、あるいは反応が遅い場合もありうる。そうした時に、ともすると、先回りをして、「ザ・ベストテンはおもしろいよね」とか、「子どもだから、10時には寝るものね」のように、インタビュアーが答えを用意して、同意を求める形へ走りやすい。しかし、それは誘導尋問であって、被面接者の心の内をたずねたことにはならない。

⑤ 相手の心の内に焦点を合わせる

被面接者の心の動きをたずねるのが面接調査の狙いなので、心の動きに焦点をあて、「その時、君はどう思ったの」、「どうして、そう思うようになったのかな」のように、折りあるごとに、気持ちをたずねていくことにしたい。

⑥ 4つのWを忘れずに

初心者向けの心得のようだが、面接をしていると、つい、大事なことを聞き残すことが多い。それだけに、すでにふれたように、面接用の用紙を準備して、それに従って聞きとりを進めるのが望ましいが、それと同時に、つねに、4つのW——When, Who, What, Where——を心にとめておき、どれかのWが欠けていないかをチェックしておきたい。さらに言えば、余裕のある面接者は、4つのWにもうひとつWhyを加え、5つのWをイメージに置くと、面接が理想的となろう。



面接調査のたいへんさ

アンケート調査なら、学校に協力を求めると、30分くらいの時間で、何百通ものデータを回収できる。しかし、面接調査では、データ数が限られ、効率がわるい。しかも、そうしたデータのすべてが、質が良いと言いがたい場合が多い。

つきつめて言うと、面接調査は、「こんな子どもがいる」あるいは、「こう思っている子もいる」というような極端な形かもしれな

いが、ある種の典型的な事例を集めるのを狙いとしている。体が悪かったわけでもないのに、テレビをぜんぜん見ていない子がいる。そういう子どもはどんな環境の中で育っているのか。あるいは、毎日5時間以上テレビを見ている子はどんなタイプの子どものか。そうした事例を、子どものイメージが浮かんでくるように描き出したいのである。

100人のうち、そう思う人が何人いるかを明らかにするのがアンケートの目的とするなら、100人の中の1人かもしれないが、こういう子もいるのをはっきりさせるのが面接調査である。したがって、面接調査の実施にあたっては、アンケート調査との違いを、シャープに理解しておく必要がある。

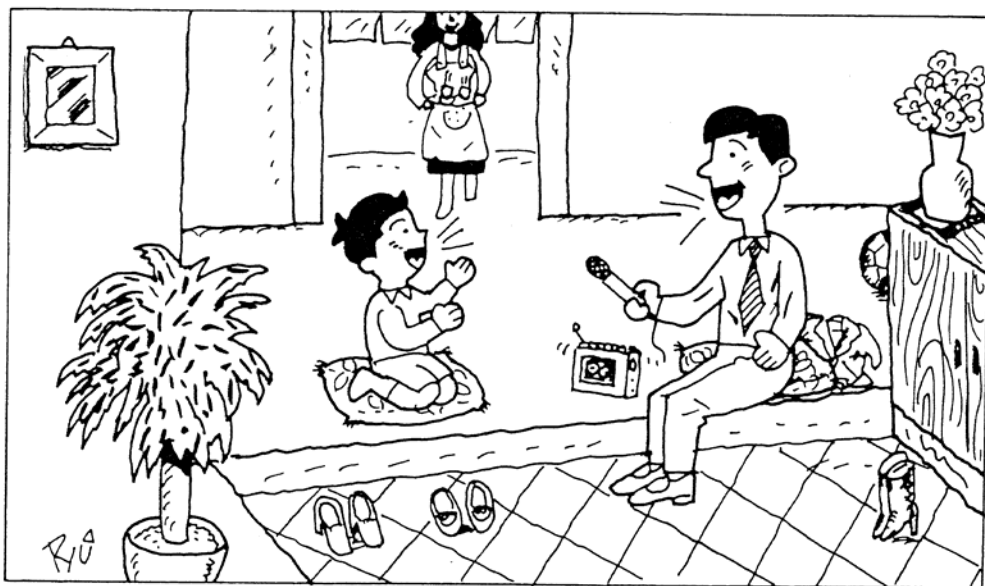
そうはいうものの、面接調査は、すでにふれたような準備の他にも、インタビュアーの協力を求める場合、費用がかさむ点も心を重くする条件になる。

子ども調査の場合、学校の協力を得て、教室内で聞きとりができると、経済的にかなり救われるが、調査の中ではそれは例外で、通常は家庭を訪問する形をとる。となると、電話でアポイントメントをとり、つぎに、住所

を探して訪ね、そして聞きとり、最後に清書をして、レポートを提出してもらうことになる。こうした場合、交通費や日当、レポート清書代などを含めると、1ケースが5千円、時には1万円へ近づくこともまれではない。

したがって、方法のおもしろさにひかれて、安易に面接調査にとりかかりにくい面を含んでいる。それだけに、テーマを選び、面接調査の長所を発揮できる方法にしばりこんで、聞きとりを重ねてほしい。

聞きとりをすると、なま身の子どもの気持ちに集中して接することができる。そして、聞きとりをするテーマ以外のことでも、対象の心が伝わってくる。それだけに、面接をしてレポートをまとめるなどと考えずに、気軽に、身近にいる人を対象として聞きとりを行ってほしい。聞きとりをしたからといって、すぐに目にみえるほどの力がつくわけではないが、何年間か聞きとりを重ねていると、対象の考え方がわかってくるので、着実に力が伸びていく。それだけに、調査を志す者の心得として、少なくとも年に2～3回は、心をこめて面接をする機会を設けてほしい気持ちがする。



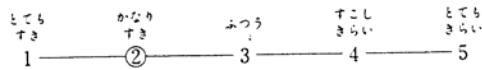
ちよふたのおねがい



これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスが好きですか？



あなたがもしカレーライスを **かなり好き** だと思ったら
上のように番号のところを○でかこんでください。

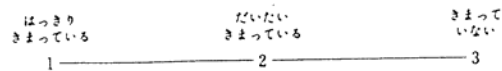
① まず学年などを書いてください。

- ① 学校の名前…… () 小学校
- ② 学年……… (4、5、6) 年生 (○でかこむ)
- ③ 男女……… (男・女) (○でかこむ)
- ④ お父さん……… (いる・いない) (○でかこむ)

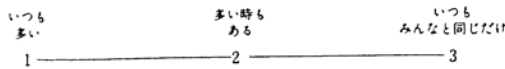
（これからずっと聞いていくのは、あなたのお父さんのことです。お父さんがいない人は、かわりにお母さんのことだとして、答えられるところだけ答えてください。

② まず、あなたの家の食事のようすを聞きます。

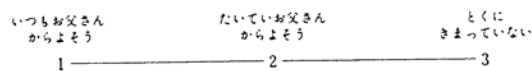
1. お父さんの食事をする席はきまっていますか



2. お父さんだけおかずが多いことがありますか



3. ごはんをよそう順序はどうなっていますか

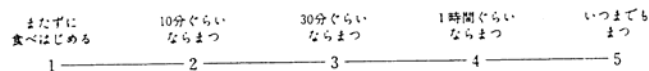


4. みんながそろって夕食を食べる時、お父さんより早く食べはじめると、「まず、お父さんからですよ」などとしかられることがありますか

- 1. しかられる (家中でまずお父さんがはじめにハシをとる)
- 2. しかられない (「いただきます」をすればだれからたべはじめてもよい)

5. 食事までに帰る予定していたお父さんが何かのつごうでおそくなりました

あなたの家ではどうしますか



● 資料1 調査票見本

③ 家でのお父さんのくらしぶりについてもうすこし聞きます。

1. お父さんせん用のつくえがありますか…… (1. ある 2. ない)
2. お父さんせん用の本箱びんがありますか…… (1. ある 2. ない)
3. お父さんせん用のカメラがありますか…… (1. ある 2. ない)
4. お父さんせん用の部屋がありますか…… (1. ある 2. ない)
5. テレビを見る時、お父さんの席はきまっていますか

- (1. きまっていない
2. きまっている→どこですか
1. 1番テレビが見やすい所
 2. テレビがわりとよく見えるぐらいの所
 3. あまりテレビはよく見えない所

6. お父さんせん用のテレビがありますか(お母さんと2人用のテレビでもよい)
(1. ある 2. ない)

7. お父さんは食事の時、お茶わんやハシを並べたり、おかずをはこんだりなどの手伝てつだいをしますか

いつも 手伝う	ときどき 手伝う	たまに 手伝う	ぜんぜん 手伝わない
1	2	3	4

8. あなたのお父さんは、日曜日(休みの日)に家にいますか

いつも 家にいる	わりと いる	わりと いない	たいてい いない
1	2	3	4

9. お父さんが、休みの日などにするしゅみは何ですか

10. 家ぞくて相談をする時、お父さんの考えはどのくらい大切にされますか

いつも お父さんの考えで きまる	たいてい お父さんの考えで きまる	みんなで 話し合っ てきめる	子どもやお母さんの 考えで きまる ことが多い
1	2	3	4

11. 家にいるお父さんはよくしゃべるほうですか

とてもよく しゃべる	わりと しゃべる	あまり しゃべらない	ほとんど しゃべらない
1	2	3	4

④ お父さんの仕事がある日、あなたはつぎのようなことをお父さんといっしょにしますか。

- | 〈日ようや休日でないふつうの日〉 | たいてい
する | わりと
する | あまり
しない | ほとんど
しない |
|------------------------|------------|-----------|------------|-------------|
| 1. お父さんといっしょに朝ごはんを食べる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. お父さんといっしょにテレビを見る… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. お父さんに学校の勉強を教わる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. お父さんとお話をする… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. お父さんといっしょに夕ごはんを食べる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. お父さんといっしょにお風呂に入る… | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑤ それではお父さんの休みの日はどうですか。

- | 〈休みの日〉 | たいてい
する | わりと
する | あまり
しない | ほとんど
しない |
|------------------------|------------|-----------|------------|-------------|
| 1. お父さんといっしょに朝ごはんをたべる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. お父さんといっしょにテレビを見る… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. お父さんに学校の勉強を教わる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. お父さんとお話をする… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. お父さんといっしょに夕ごはんを食べる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. お父さんといっしょにお風呂に入る… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. お父さんといっしょに遊ぶ… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. お父さんと2人でどこかに出かける… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 家の人みんなでどこかに出かける… | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑥ お父さんとあなたはどんなことをして遊びますか。おもなものを2つ書いてください。

--	--

⑦ お父さんとはどんなことを話しますか。つぎの中からえらんで○をつけてください（○はいくつつけてもいいし、また、1つもつけなくてもいいです）。

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 遊びやスポーツのこと | 5. 学校でのできごと |
| 2. 友だちのこと | 6. テレビやタレントのこと |
| 3. 成 <small>せい</small> せきや勉強のこと | 7. 買ってほしいものやおこづかいのこと |
| 4. 家ぞくのこと | 8. 世の中のできごと |

● 資料1 調査票見本

⑧ あなたのお父さんは、次の2つのタイプのうち、おもにどちらのほうですか？

- イ. (1. 明るく楽しい人 2. すこしネクラな(暗い)人)
- ロ. (1. 勇気のある人 2. すこしおくびょうな人)
- ハ. (1. たよりになる人 2. すこしたよらない人)
- ニ. (1. 心のやさしい人 2. すこしつめたい人)
- ホ. (1. 何でもがんばる人 2. あまりがんばらない人)
- ヘ. (1. 仕事にとっても熱心な人 2. 仕事はふつうぐらいにする人)
- ト. (1. 頭のいい人 2. 頭はふつうぐらいの人)
- チ. (1. 世の中のことを何でも知っている人 2. 世の中のことはあまり知らない人)
- リ. (1. 悪いことをゆるさないキゼンシイ人 2. わりとおだやかな人)
- ス. (1. とてもからだのじょうぶなほう 2. すこしつかれやすいほう)
- ル. (1. 友だちの多いほう 2. 友だちはわりと少ないほう)
- オ. (1. 成せき^{せい}についてうるさく言うほう 2. あまり言わないほう)
- ワ. (1. ちょっとのことですぐおこるほう 2. めったにおこらないほう)
- カ. (1. 気まへのいいほう 2. すこしケチなほう)

⑨ あなたからお父さんに直してもらいたいことや **いやだな** と思うことがありますか。あったら、つぎの の中でできるだけわしく書いてください。

⑩ あなたがつぎのようなことをした時、**うるさくいう** のは、お父さんとお母さんのどちらですか。

	だんぜん お父さん	どちらかといえば お父さん	どちらかといえば お母さん	だんぜん お母さん
1. テストで悪い点をとった時	1	2	3	4
2. 家で勉強をしない時	1	2	3	4
3. 家で手伝いをしない時	1	2	3	4
4. テレビばかりみている時	1	2	3	4
5. 机の上がちらかっている時	1	2	3	4
6. 朝、歯をみがかない時	1	2	3	4

11 お父さんは、あなたのことをどのくらい知っているでしょう。

- | | とてもよく
知っている | だいたい
知っているだろう | たぶん
知らないだろう | ぜんぜん
知らないだろう |
|-----------------------|----------------|------------------|----------------|-----------------|
| 1. あなたの親友の名前…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. あなたの担任の先生の名前…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. あなたのテストの点数…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. あなたの好きなスターの名前…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. あなたが今なやんでいること…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

12 もしあなたがつぎのようなことでなやんでいるとしたら、だれに相談しますか。
1つだけえらんで○でかこんでください。

- | | お父さん | お母さん | 他の人 | べつにだれにも
相談しない |
|--------------------------|------|------|-----|------------------|
| 1. 勉強のしかたがわからない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 学校に行くのが何となく楽しくない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 中学生にいじめられる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 仲よしの友だちとけんかをした…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 勉強の成せきさが下がってきた…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. しょうらい、どんな仕事につこうか…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. ほしいものがあるけどお金がない…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 好きな女の子(男の子)ができた…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

13 1) あなたのお父さんはふだん何時ごろにおきますか。

(5時前 5時半 6時 6時半 7時 7時半 8時よりおそい)

2) ではお母さんは何時ごろおきますか。

- (1. お父さんより早くおきる 2. お父さんと同じくらいにおきる
3. お父さんよりおそくおきる 4. わからない)

3) あなたは何時ごろおきますか (いちばん近いものに○)。

(5時前 5時半 6時 6時半 7時 7時半 8時よりおそい)

4) お父さんの朝ごはんは、ふだんだれとっしょですか。

1. 家ぞく全員で
2. お父さん1人だけで
3. お父さんとお母さん(またはそのほかのおとな)で
4. 家ぞくの何人かと(全部はそろわない)

● 資料1 調査票見本

14 あなたの父さんはどんな仕事をしていますか。つぎの中であてはまるものに○をつけてください。

1. 会社や学校、役所などにつとめている
2. 工場につとめている
3. お店につとめている
4. 自分でお店をやっている
5. その他

15 あなたは父さんが朝つとめに出かける時(または父さんが外へ出かける時)「いってらっしゃい」を言い、げんかんへ出ますか。

1. かならずげんかんで「いってらっしゃい」を言う
2. その時いる場所で声だけかける
3. あまり「いってらっしゃい」とは言わない
4. とうさんは(あなたが登校する時)家にいるので、言わない

16 あなたは、父さんがつとめから帰ってきた時(または外から帰ってきた時)、「おかえりなさい」を言いげんかんへ出ますか。

1. かならずげんかんへ出て行って「おかえりなさい」と言う
2. げんかんに出て言うこともあるが、そのままにしておいて、あとで顔を見てから「おかえりなさい」と言うこともある
3. とくにげんかんに出ては行かず、顔を見たら言う
4. あまり「おかえりなさい」と言わない

17 (お父さんが、会社や学校や工場やお店におつとめに行っている人だけに聞きます)

- 1) お父さんがつとめに出るため家を出るのは何時ごろですか
(6時前 6時半 7時 7時半 8時 8時半 9時よりおそい)
- 2) お父さんがつとめから帰ってくる時間は何時ごろですか
(6時前 6時半 7時 7時半 8時 8時半 9時 9時半 10時よりおそい)

18 (ぜんぶの人に聞きます)

お父さんは、あなたと週に何日ぐらい、夕ごはん をたべますか。

- (1. ほとんど毎日 2. 週4～5日 3. 週半分ぐらい 4. 週1、2日
5. ほとんどいっしょにはたべない)

19 あなたはお父さんとお母さんではどちらが好きですか。

だんぜん お父さん	どちらかといえば お父さん	同じぐらい	どちらかといえば お母さん	だんぜん お母さん
1	2	3	4	5

20 あなたはしょうらい、お父さんと同じ仕事(つとめる場所やはたらく場所も同じ)をしてみたいですか。

とても 思う	わりと 思う	どちらとも いえない	できれば ほかの仕事がいい	ぜんぜん 絶対ほかの 仕事がいい
1	2	3	4	5

21 あなたのお父さんは、いましている仕事が好きだと思いますか。

とても好きで 喜んでやっている	わりと好きで やっている	どちらとも いえない	あまり好きな 仕事ではない	ぜんぜん好きな 仕事ではない
1	2	3	4	5

22 あなたのお父さんは幸せだと思いますか。

とても幸せ だと思 う	わりと 幸せだと思 う	どちらとも いえない	あまり 幸せでない	ぜんぜん 幸せでない
1	2	3	4	5

23 さいご 最後におたずねします。

1) あなたのお父さんは何歳まいぐらいですか

(35歳より若い 36～40歳 41～45歳 46歳以上)

2) あなたのお母さんは仕事をしていますか

1. していない	}	1. 会社につとめている
2. している → つぎのどれですか		2. パートタイム
		3. 自分の家で

3) あなたは何人兄弟(姉妹)の何番目ですか

人兄弟(姉妹)の 番目

— これで終わりです。どうもありがとう。 —

● 資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目	全体	性別		学年別				
		男子	女子	4年	5年	6年		
1 サンプル数	学年	4年	688	373	315			
		5年	683	370	313			
		6年	698	366	332			
	性	男子	1,109					
		女子	960					
2 家の食事のようす	お父さんの席	1. はっきりきまっている	57.5	56.6	58.5	53.6	58.7	60.2
		2. だいたいきまっている	36.6	35.5	37.9	39.6	35.3	34.9
		3. きまっていない	5.9	7.9	3.6	6.8	6.0	4.9
	お父さんのおかず	1. いつも多い	24.2	20.5	28.5	26.4	24.6	21.7
		2. 多い時もある	59.6	58.5	60.9	58.7	58.7	61.4
		3. いつもみんなと同じだけ	16.2	21.0	10.6	14.9	16.7	16.9
	順序	1. いつもお父さんからよそう	16.5	13.1	20.5	13.4	17.5	18.7
		2. たいていお父さんからよそう	16.4	14.1	19.1	14.1	17.1	18.1
		3. とくにきまっていない	67.1	72.8	60.4	72.5	65.4	63.2
	べると先に食	1. しかられる	5.6	5.1	6.2	5.2	6.1	5.5
		2. しかられない	94.4	94.9	93.8	94.8	93.9	94.5
	お父さんが遅い時	1. 待たずに食べはじめる	56.1	58.5	53.0	60.9	54.1	52.8
		2. 10分ぐらいなら待つ	19.1	17.9	20.4	18.2	20.4	18.7
		3. 30分ぐらいなら待つ	17.6	16.5	19.0	14.8	18.2	20.0
		4. 1時間ぐらいなら待つ	5.9	5.8	6.2	4.6	6.4	6.9
5. いつまでも待つ		1.3	1.3	1.4	1.5	0.9	1.6	
3 お父さんの暮らしぶり	専用机	1. ある	28.7	32.2	24.7	25.9	30.3	29.9
		2. ない	71.3	67.8	75.3	74.1	69.7	70.1
	本箱専用	1. ある	53.8	54.5	53.0	48.3	55.7	57.4
		2. ない	46.2	45.5	47.0	51.7	44.3	42.6
	カメラ専用	1. ある	61.0	63.5	58.1	53.6	64.6	64.7
		2. ない	39.0	36.5	41.9	46.4	35.4	35.3
	部屋専用	1. ある	28.1	31.4	24.3	25.1	27.8	31.2
		2. ない	71.9	68.6	75.7	74.9	72.2	68.8
	見る席テレビを	1. きまっていない	68.6	68.3	69.0	70.6	65.7	69.6
		2. きまっている	31.4	31.7	31.0	29.4	34.3	30.4
	見る場所テレビを	1. 1番テレビが見やすい所	61.8	61.3	62.3	57.3	63.3	64.6
		2. テレビがわりとよく見える所	34.9	34.3	35.8	37.0	35.1	32.7
		3. あまりテレビはよく見えない所	3.3	4.4	1.9	5.7	1.6	2.7
	テレビ専用	1. ある	16.1	15.5	16.8	12.7	16.9	18.7
		2. ない	83.9	84.5	83.2	87.3	83.1	81.3
食事の手伝い	1. いつも手伝う	4.8	4.5	5.0	4.4	4.1	5.8	
	2. とときき手伝う	21.0	20.7	21.3	21.9	22.1	19.0	
	3. たまに手伝う	44.6	45.3	43.9	46.8	43.8	43.2	
	4. ぜんぜん手伝わない	29.6	29.5	29.8	26.9	30.0	32.0	
日曜日は	1. いつも家にいる	23.9	22.2	25.9	22.6	24.6	24.6	
	2. わりという	52.2	51.5	53.0	55.7	51.1	49.5	
	3. わりといない	14.0	14.6	13.3	13.3	14.0	14.7	
	4. たいていいない	9.9	11.7	7.8	8.4	10.3	11.2	
家族で相談する時	1. いつもお父さんの考えできまる	5.6	6.3	4.9	6.2	6.6	4.2	
	2. たいていお父さんの考えできまる	32.1	33.8	30.2	34.6	30.7	31.1	
	3. みんなで話し合ってきめる	54.2	50.7	58.1	51.8	54.1	56.5	
	4. 子どもやお母さんの考えできまることが多い	8.1	9.2	6.8	7.4	8.6	8.2	
父さんは家にいるお	1. とてもよくしゃべる	17.3	16.3	18.5	17.5	20.0	14.5	
	2. わりとししゃべる	57.1	57.3	56.7	58.7	57.4	55.2	
	3. あまりしゃべらない	23.8	24.4	23.1	22.9	21.0	27.3	
	4. ほとんどしゃべらない	1.8	2.0	1.7	0.9	1.6	3.0	

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
4	平日のお父さんとのすごし方	食をとる 一緒に朝	1. たいていする	27.9	27.0	28.8	29.1	30.8	23.7
			2. わりとする	17.5	18.2	16.6	17.9	16.8	17.7
			3. あまりしない	22.7	22.1	23.4	28.1	19.2	20.7
			4. ほとんどしない	31.9	32.7	31.2	24.9	33.2	37.9
		ピを見る 一緒にテレ	1. たいていする	15.6	16.3	14.7	15.9	16.9	14.0
			2. わりとする	30.0	30.3	29.6	30.2	31.4	28.4
			3. あまりしない	30.7	29.6	32.2	30.9	26.7	34.7
			4. ほとんどしない	23.7	23.8	23.5	23.0	25.0	22.9
		勉強を教わる	1. たいていする	7.3	6.1	8.6	8.9	8.0	4.9
			2. わりとする	22.7	20.5	25.2	25.2	22.4	20.5
			3. あまりしない	31.7	32.1	31.3	32.7	32.0	30.5
			4. ほとんどしない	38.3	41.3	34.9	33.2	37.6	44.1
	話をする	1. たいていする	27.9	25.2	31.0	30.7	30.9	22.2	
		2. わりとする	36.9	38.2	35.3	36.3	35.7	38.7	
		3. あまりしない	24.8	24.9	24.8	21.7	22.5	30.2	
		4. ほとんどしない	10.4	11.7	8.9	11.3	10.9	8.9	
	食をとる 一緒に夕	1. たいていする	20.9	19.9	21.9	20.9	22.0	19.6	
		2. わりとする	22.3	22.4	22.2	22.7	21.7	22.5	
		3. あまりしない	31.6	33.1	29.9	33.0	29.2	32.6	
		4. ほとんどしない	25.2	24.6	26.0	23.4	27.1	25.3	
呂に入る 一緒に風呂	1. たいていする	5.7	8.5	2.6	8.3	7.2	1.7		
	2. わりとする	13.2	17.0	8.9	21.3	12.0	6.5		
	3. あまりしない	23.7	29.8	16.6	32.4	20.3	18.4		
	4. ほとんどしない	57.4	44.7	71.9	38.0	60.5	73.4		
5	休みの日のお父さんとのすごし方	食をとる 一緒に朝	1. たいていする	57.5	54.7	60.9	58.5	61.9	52.5
			2. わりとする	17.6	17.9	17.2	17.6	15.0	20.1
			3. あまりしない	13.3	14.4	12.0	14.4	12.5	12.9
			4. ほとんどしない	11.6	13.0	9.9	9.5	10.6	14.5
		ピを見る 一緒にテレ	1. たいていする	35.6	36.1	35.0	34.0	40.0	32.9
			2. わりとする	33.9	32.1	36.0	35.4	31.0	35.2
			3. あまりしない	20.7	21.4	19.8	21.8	19.9	20.4
			4. ほとんどしない	9.8	10.4	9.2	8.8	9.1	11.5
		勉強を教わる	1. たいていする	13.4	13.1	13.7	15.3	14.2	10.7
			2. わりとする	20.6	18.8	22.5	24.9	18.3	18.5
			3. あまりしない	31.3	29.8	32.9	33.3	31.8	28.7
			4. ほとんどしない	34.7	38.3	30.9	26.5	35.7	42.1
	話をする	1. たいていする	41.1	37.2	45.4	42.0	45.9	35.4	
		2. わりとする	34.7	37.2	31.9	34.5	32.4	37.2	
		3. あまりしない	17.6	18.1	17.1	15.5	16.5	20.9	
		4. ほとんどしない	6.6	7.5	5.6	8.0	5.2	6.5	
	食をとる 一緒に夕	1. たいていする	79.1	77.0	81.6	77.2	80.5	79.7	
		2. わりとする	13.6	14.8	12.2	13.8	13.6	13.3	
		3. あまりしない	4.0	4.5	3.5	5.9	2.7	3.5	
		4. ほとんどしない	3.3	3.7	2.7	3.1	3.2	3.5	
呂に入る 一緒に風呂	1. たいていする	16.8	23.9	8.7	25.9	17.9	6.8		
	2. わりとする	16.6	22.0	10.3	23.2	16.0	10.6		
	3. あまりしない	19.5	21.8	16.9	23.5	19.4	15.8		
	4. ほとんどしない	47.1	32.3	64.1	27.4	46.7	66.8		
一緒に遊ぶ	1. たいていする	20.0	20.5	19.5	26.2	21.8	12.1		
	2. わりとする	26.6	27.0	26.0	31.2	27.1	21.5		
	3. あまりしない	30.7	30.3	31.3	27.4	29.6	35.3		
	4. ほとんどしない	22.7	22.2	23.2	15.2	21.5	31.1		

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全体	性別		学年別				
		男子	女子	4年	5年	6年		
5 休みの日のお父さんとの過ごし方	二人で出かける	1. たいていする	11.5	13.3	9.4	13.5	12.3	8.7
		2. わりとする	26.4	28.4	24.1	26.3	26.7	26.2
		3. あまりしない	37.5	35.7	39.5	39.3	37.1	36.0
		4. ほとんどしない	24.6	22.6	27.0	20.9	23.9	29.1
	みんなでお出かける	1. たいていする	20.3	16.8	24.3	24.9	22.3	13.7
		2. わりとする	33.2	31.2	35.9	32.3	33.3	34.0
		3. あまりしない	30.7	33.1	27.6	28.8	29.1	34.4
		4. ほとんどしない	15.8	18.9	12.2	14.0	15.3	17.9
7 お父さんとの話題	遊び・スポーツ	1. 話さない	43.2	35.0	52.5	45.0	40.2	44.5
		2. 話す	56.8	65.0	47.5	55.0	59.8	55.5
	友だちのこと	1. 話さない	63.4	70.6	55.4	62.9	61.0	66.4
		2. 話す	36.6	29.4	44.6	37.1	39.0	33.6
	勉強や成績	1. 話さない	63.3	61.8	65.0	62.7	65.6	61.6
		2. 話す	36.7	38.2	35.0	37.3	34.4	38.4
	家族のこと	1. 話さない	70.4	74.7	65.5	71.9	68.1	71.2
		2. 話す	29.6	25.3	34.5	28.1	31.9	28.8
	学校での生活	1. 話さない	40.9	49.1	31.7	39.8	39.0	43.7
		2. 話す	59.1	50.9	68.3	60.2	61.0	56.3
	テレビやマンガ	1. 話さない	82.5	85.9	78.7	85.4	83.1	79.1
		2. 話す	17.5	14.1	21.3	14.6	16.9	20.9
	ほしいもの	1. 話さない	64.7	66.5	62.8	70.6	64.7	59.0
		2. 話す	35.3	33.5	37.2	29.4	35.3	41.0
	世の中	1. 話さない	71.8	66.7	77.5	74.5	70.5	70.4
		2. 話す	28.2	33.3	22.5	25.5	29.5	29.6
	8 お父さんのイメージ	1. 明るく楽しい人	84.8	84.7	85.0	88.1	84.9	81.5
		2. すこしネクラな人	15.2	15.3	15.0	11.9	15.1	18.5
		1. 勇気のある人	90.4	90.6	90.2	91.5	90.2	89.5
		2. すこしおくびょうな人	9.6	9.4	9.8	8.5	9.8	10.5
1. たよりになる人		87.0	86.1	88.1	87.7	87.2	86.3	
2. すこしたよりにない人		13.0	13.9	11.9	12.3	12.8	13.7	
1. 心のやさしい人		88.0	85.6	90.7	86.6	88.3	89.0	
2. すこしつめたい人		12.0	14.4	9.3	13.4	11.7	11.0	
1. 何でもがんばる人		84.3	84.1	84.6	86.3	84.2	82.6	
2. あまりがんばらない人		15.7	15.9	15.4	13.7	15.8	17.4	
1. 仕事にとっても熱心な人		75.6	76.4	74.6	74.0	74.0	78.7	
2. 仕事はふつうぐらいにする人		24.4	23.6	25.4	26.0	26.0	21.3	
1. 頭のいい人		59.6	57.9	61.5	61.9	57.6	59.2	
2. 頭はふつうぐらいの人		40.4	42.1	38.5	38.1	42.4	40.8	
1. 世の中のことを何でも知っている人		70.7	67.9	74.0	60.7	71.1	80.3	
2. 世の中のことはあまり知らない人		29.3	32.1	26.0	39.3	28.9	19.7	
1. 悪いことをゆるさないキビシイ人		49.9	52.6	46.8	44.3	54.6	50.8	
2. わりとおだやかな人		50.1	47.4	53.2	55.7	45.4	49.2	
1. とてもからだのじょうぶなほう		65.9	65.2	66.6	67.6	66.6	63.4	
2. すこしつかれやすいほう		34.1	34.8	33.4	32.4	33.4	36.6	
1. 友だちの多いほう		89.4	89.1	89.6	87.9	89.6	90.5	
2. 友だちはわりと少ないほう		10.6	10.9	10.4	12.1	10.4	9.5	
1. 成績についてうるさいほう		18.3	19.9	16.5	17.3	19.9	17.7	
2. あまり言わないほう		81.7	80.1	83.5	82.7	80.1	82.3	
1. ちょっとのことですぐおこるほう		24.7	26.5	22.6	23.3	24.8	25.9	
2. めったにおこらないほう		75.3	73.5	77.4	76.7	75.2	74.1	
1. 気まえのいいほう		81.1	79.3	83.2	83.4	83.7	76.2	
2. すこしケチなほう		18.9	20.7	16.8	16.6	16.3	23.8	

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
10	うる	テストで悪い点のとき	1. だんぜんお父さん	2.5	3.3	1.5	2.2	2.5	2.6
		2. どちらかといえばお父さん	14.5	15.7	13.2	15.4	15.6	12.7	
		3. どちらかといえばお母さん	59.5	57.2	62.2	61.3	60.0	57.4	
		4. だんぜんお母さん	23.5	23.8	23.1	21.1	21.9	27.3	
	さく	家で勉強しないとき	1. だんぜんお父さん	3.9	4.5	3.2	3.8	3.8	4.1
		2. どちらかといえばお父さん	12.7	13.9	11.4	12.9	13.7	11.6	
		3. どちらかといえばお母さん	53.8	50.7	57.4	54.7	56.0	50.7	
		4. だんぜんお母さん	29.6	30.9	28.0	28.6	26.5	33.6	
	いう	家で手伝いをしないとき	1. だんぜんお父さん	3.8	4.1	3.4	3.6	3.1	4.6
		2. どちらかといえばお父さん	17.8	17.9	17.7	20.2	18.6	14.8	
		3. どちらかといえばお母さん	51.8	52.8	50.7	53.4	52.8	49.3	
		4. だんぜんお母さん	26.6	25.2	28.2	22.8	25.5	31.3	
	のは	テレビばかり見ているとき	1. だんぜんお父さん	4.2	4.6	3.6	5.1	4.4	3.0
		2. どちらかといえばお父さん	14.4	14.9	13.9	16.6	13.0	13.8	
		3. どちらかといえばお母さん	50.6	49.9	51.3	51.7	53.4	46.7	
		4. だんぜんお母さん	30.8	30.6	31.2	26.6	29.2	36.5	
	の	机の上がいつも汚れているとき	1. だんぜんお父さん	6.7	7.3	6.1	7.7	7.3	5.3
		2. どちらかといえばお父さん	15.1	16.3	13.6	16.0	14.8	14.3	
		3. どちらかといえばお母さん	42.0	40.9	43.2	44.7	42.6	38.8	
		4. だんぜんお母さん	36.2	35.5	37.1	31.6	35.3	41.6	
は	朝歯をみがかないとき	1. だんぜんお父さん	4.3	4.5	4.0	4.4	4.9	3.5	
	2. どちらかといえばお父さん	10.8	11.2	10.3	9.3	11.5	11.6		
	3. どちらかといえばお母さん	54.3	53.0	56.0	58.8	53.1	51.0		
	4. だんぜんお母さん	30.6	31.3	29.7	27.5	30.5	33.9		
11	お父さんはどのくらい知っているか	友の名称	1. とてもよく知っている	18.1	18.7	17.5	19.2	20.4	14.9
		2. だいたい知っているだろう	45.8	43.4	48.5	46.4	41.6	49.0	
		3. たぶん知らないだろう	25.9	25.5	26.4	24.2	27.0	26.7	
		4. ぜんぜん知らないだろう	10.2	12.4	7.6	10.2	11.0	9.4	
	生の名前	担任の先生	1. とてもよく知っている	33.6	32.5	35.0	37.3	30.3	33.3
		2. だいたい知っているだろう	39.3	39.0	39.4	37.4	40.0	40.3	
		3. たぶん知らないだろう	19.1	19.1	19.1	17.4	21.0	18.9	
		4. ぜんぜん知らないだろう	8.0	9.4	6.5	7.9	8.7	7.5	
	テストの点数	1. とてもよく知っている	15.7	16.0	15.4	14.7	19.0	13.5	
		2. だいたい知っているだろう	44.9	43.5	46.8	46.2	44.8	43.8	
		3. たぶん知らないだろう	27.4	26.9	27.8	27.2	24.9	30.0	
		4. ぜんぜん知らないだろう	12.0	13.6	10.0	11.9	11.3	12.7	
	Iの名前	好きなスタ	1. とてもよく知っている	17.3	10.7	24.7	17.0	15.9	18.9
		2. だいたい知っているだろう	16.9	12.1	22.2	17.7	16.5	16.3	
		3. たぶん知らないだろう	19.7	16.9	22.8	20.3	18.8	19.9	
		4. ぜんぜん知らないだろう	46.1	60.3	30.3	45.0	48.8	44.9	
	でいること	今、なやんでいること	1. とてもよく知っている	7.3	7.8	6.7	8.6	8.9	4.2
		2. だいたい知っているだろう	17.0	16.0	18.1	21.4	15.3	14.1	
		3. たぶん知らないだろう	31.1	30.9	31.3	31.4	30.4	31.4	
		4. ぜんぜん知らないだろう	44.6	45.3	43.9	38.6	45.4	50.3	
12	なやみの相談相手	わからない	1. お父さん	31.7	31.4	32.1	32.4	31.8	31.1
		2. お母さん	47.3	46.2	48.6	54.1	49.1	39.0	
		3. 他の人	13.2	12.3	14.2	7.8	12.0	19.5	
		4. べつにだれにも相談しない	7.8	10.1	5.1	5.7	7.1	10.4	
	学校が楽しい	1. お父さん	9.1	10.1	7.9	10.0	9.5	7.9	
		2. お母さん	38.0	31.0	46.0	42.2	39.2	32.5	
		3. 他の人	10.2	6.6	14.3	7.7	8.8	14.0	
		4. べつにだれにも相談しない	42.7	52.3	31.8	40.1	42.5	45.6	

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全体	性別		学年別					
		男子	女子	4年	5年	6年			
12 なやみの相談相手	おがほ 金があ しいも ないの	1. お父さん	38.9	38.0	39.9	35.4	42.8	38.5	
		2. お母さん	38.4	37.2	39.8	39.2	35.4	40.6	
		3. 他の人	3.6	3.5	3.7	3.9	3.0	3.8	
		4. べつにだれにも相談しない	19.1	21.3	16.6	21.5	18.8	17.1	
	が好 でき な人	1. お父さん	3.0	3.0	2.9	5.1	2.4	1.4	
		2. お母さん	12.8	7.6	18.5	18.3	12.1	7.8	
		3. 他の人	11.1	4.8	18.1	4.5	11.0	17.9	
		4. べつにだれにも相談しない	73.1	84.6	60.5	72.1	74.5	72.9	
	中 学 生 に い じ め ら れ る	1. お父さん	31.4	29.5	33.8	40.3	32.6	21.3	
		2. お母さん	28.8	22.5	36.0	29.5	28.0	28.7	
		3. 他の人	11.8	11.8	11.9	7.3	11.2	17.1	
		4. べつにだれにも相談しない	28.0	36.2	18.3	22.9	28.2	32.9	
	仲 よ し と け ん か し た	1. お父さん	6.3	7.1	5.3	7.8	7.7	3.2	
		2. お母さん	34.2	27.1	42.3	42.9	32.3	27.4	
		3. 他の人	11.7	7.3	16.7	6.4	10.6	18.3	
		4. べつにだれにも相談しない	47.8	58.5	35.7	42.9	49.4	51.1	
	成 績 が 下 が っ た	1. お父さん	20.5	20.1	21.0	24.4	19.9	17.3	
		2. お母さん	43.9	39.9	48.3	47.3	41.0	43.3	
		3. 他の人	5.2	4.5	6.0	3.6	3.9	8.0	
		4. べつにだれにも相談しない	30.4	35.5	24.7	24.7	35.2	31.4	
	将 来 の 職 業	1. お父さん	37.3	45.5	29.0	41.5	38.9	33.0	
		2. お母さん	26.3	17.9	35.9	25.4	25.2	28.4	
		3. 他の人	6.4	4.4	7.7	5.0	5.9	6.8	
		4. べつにだれにも相談しない	30.0	32.2	27.4	28.1	30.0	31.8	
	13 家族の暮らしぶり	お父 さん の 起 き る 時 刻	1. 5時前	4.8	5.5	4.0	3.5	6.3	4.7
			2. 5時半	7.9	6.9	9.1	7.6	7.3	8.8
			3. 6時	19.3	19.4	19.2	19.0	18.8	20.2
			4. 6時半	24.7	25.7	23.6	25.3	24.2	24.5
5. 7時			23.3	22.0	24.8	23.0	22.6	24.4	
6. 7時半			10.1	10.5	9.5	11.7	10.6	7.9	
7. 8時よりおそい			9.9	10.0	9.8	9.9	10.2	9.5	
お母 さん の 起 き る 時 刻		1. お父さんより早く起きる	70.8	70.6	71.3	72.1	68.6	71.7	
		2. お父さんと同じくらいに起きる	17.3	18.1	16.3	15.3	19.1	17.5	
		3. お父さんより遅く起きる	8.6	8.1	9.2	9.5	9.6	6.7	
		4. わからない	3.3	3.2	3.2	3.1	2.7	4.1	
あな た の 起 き る 時 刻		1. 5時前	0.9	1.4	0.3	1.2	0.7	0.7	
		2. 5時半	3.9	5.4	2.2	3.2	4.9	3.6	
		3. 6時	21.0	20.5	21.6	18.2	23.3	21.5	
		4. 6時半	43.9	41.5	46.8	48.5	39.9	43.8	
		5. 7時	26.3	26.2	26.3	26.2	26.5	26.0	
		6. 7時半	3.7	4.7	2.5	2.3	4.4	4.3	
		7. 8時より遅い	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.1	
お父 さん の 朝 食		1. 家族全員で	21.2	23.4	18.6	22.5	23.4	17.8	
		2. お父さんだけで	22.0	22.3	21.7	22.5	20.2	23.2	
		3. お父さんとお母さんで	14.4	13.9	14.9	13.9	14.8	14.4	
		4. 家族の何人かと	42.4	40.4	44.8	41.1	41.6	44.6	
14 お父 さん の 職 業		1. 会社や学校・役所など	69.3	69.1	69.5	67.8	68.0	72.2	
		2. 工場につとめている	7.1	7.6	6.4	6.7	8.0	6.5	
		3. お店につとめている	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	3.9	
		4. 自分でお店をやっている	3.8	3.5	4.1	2.8	3.9	4.6	
		5. その他	15.8	15.7	16.0	18.6	16.0	12.8	

質問項目	全体	性別		学年別					
		男子	女子	4年	5年	6年			
15 かつおとけの時に父さんが出が	1. 必ず玄関で「いってらっしゃい」と言う	24.1	23.0	25.3	26.3	28.9	17.1		
	2. その時いる場所で声だけかける	37.8	37.3	38.5	38.8	34.2	40.5		
	3. あまり「いってらっしゃい」とは言わない	13.6	15.8	11.1	12.4	13.4	15.1		
	4. 自分のほうが先に出るので言わない	24.5	23.9	25.1	22.5	23.5	27.3		
16 帰つたために父さんが	1. 必ず玄関で「おかえりなさい」と言う	27.1	25.6	28.7	30.1	29.8	21.4		
	2. 時には顔を見てから言うこともある	45.5	43.8	47.6	46.6	46.1	43.9		
	3. 顔を見たら言う	19.0	21.3	16.4	16.4	16.4	24.2		
	4. あまり「おかえりなさい」と言わない	8.4	9.3	7.3	6.9	7.7	10.5		
17 お父さんの仕事ぶり	つとめに行く時刻	1. 6時前	5.2	5.9	4.4	4.8	6.9	4.1	
		2. 6時半	10.8	10.1	11.8	12.7	9.9	9.9	
		3. 7時	24.2	23.2	25.3	22.6	21.3	28.5	
		4. 7時半	31.0	31.6	30.1	30.2	34.1	28.7	
		5. 8時	15.5	15.6	15.3	16.0	15.1	15.3	
		6. 8時半	9.4	9.9	8.9	10.1	9.2	8.9	
		7. 9時より遅い	3.9	3.7	4.2	3.6	3.5	4.6	
	つとめから帰る時刻	1. 6時前	27.8	28.0	27.9	27.7	27.4	28.8	
		2. 6時半	2.4	2.8	1.9	2.4	2.7	2.0	
		3. 7時	6.1	6.7	5.3	5.9	6.4	6.0	
		4. 7時半	6.1	6.6	5.4	7.3	5.4	5.5	
		5. 8時	10.1	10.6	9.6	9.9	8.9	11.6	
		6. 8時半	9.7	9.6	9.8	8.9	10.7	9.4	
		7. 9時	10.6	10.7	10.4	10.6	11.4	9.8	
		8. 9時半	12.4	11.5	13.4	13.5	11.2	12.4	
		9. 10時より遅い	14.8	13.5	16.3	13.8	15.9	14.5	
		18 食ら週に何日ぐ べるとお父さん か夕食をさく	1. ほとんど毎日	23.0	22.8	23.2	24.6	23.7	20.7
			2. 週4～5日	15.8	15.6	16.1	16.7	14.9	15.9
3. 週半分ぐらい	16.9		17.3	16.5	16.7	16.7	17.4		
4. 週1日～2日	34.4		34.3	34.4	30.1	34.4	38.3		
5. ほとんど一緒には食べない	9.9		10.0	9.8	11.9	10.3	7.7		
19 きどお父さん かお母さんと がらさん好の	1. だんぜんお父さん	5.7	7.1	4.1	4.7	6.8	5.7		
	2. どちらかといえばお父さん	8.0	10.3	5.3	6.9	8.4	8.6		
	3. 同じぐらい	75.7	74.9	76.6	78.8	75.9	72.3		
	4. どちらかといえばお母さん	6.6	4.9	8.6	5.9	5.7	8.3		
	5. だんぜんお母さん	4.0	2.8	5.4	3.7	3.2	5.1		
20 したいか お父さんと 同じ仕事を を	1. とても思う	5.9	9.2	2.0	7.2	6.0	4.3		
	2. わりと思う	11.2	13.9	8.0	11.9	11.2	10.4		
	3. どちらともいえない	33.8	35.0	32.5	35.0	35.0	31.7		
	4. できればほかの仕事がいい	21.2	19.2	23.4	22.8	19.9	20.3		
	5. 絶対ほかの仕事がいい	27.9	22.7	34.1	23.1	27.9	33.3		
21 好きか 今の仕事は お父さんは	1. とても好きで喜んでやっている	21.8	22.4	21.1	23.9	21.1	20.4		
	2. わりと好きでやっている	45.5	42.8	48.5	45.2	45.9	45.4		
	3. どちらともいえない	27.7	28.8	26.5	27.2	27.5	28.4		
	4. あまり好きな仕事ではない	3.9	4.7	3.1	3.1	4.5	4.2		
	5. ぜんぜん好きな仕事ではない	1.1	1.3	0.8	0.6	1.0	1.6		
22 とは幸せだ かお父さん だ	1. とても幸せだと思う	35.0	33.2	37.0	40.0	36.9	28.1		
	2. わりと幸せだと思う	42.3	42.0	42.9	37.5	43.0	46.6		
	3. どちらともいえない	18.8	20.5	16.8	19.4	16.7	20.3		
	4. あまり幸せでない	2.8	2.9	2.6	2.2	2.5	3.6		
	5. ぜんぜん幸せでない	1.1	1.4	0.7	0.9	0.9	1.4		

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
お父さんの年齢	1. ~35才	5.7	5.7	5.8	7.6	6.5	3.1	
	2. 36~40才	36.9	35.3	38.8	45.6	37.1	28.2	
	3. 41~45才	47.5	49.9	44.5	38.9	47.3	56.0	
	4. 46才~	9.9	9.1	10.9	7.9	9.1	12.7	
母親の職業	仕事をしているか	1. していない	48.5	48.5	48.6	47.6	49.8	48.2
		2. している	51.5	51.5	51.4	52.4	50.2	51.8
	つとめ方	1. 会社につとめている	33.7	33.0	34.4	38.7	32.5	29.6
		2. パートタイム	36.4	35.8	37.2	26.7	39.4	43.4
		3. 自分の家で	29.9	31.2	28.4	34.6	28.1	27.0
兄弟関係	何人兄弟か	1. 1人	4.8	4.4	5.2	4.8	4.8	4.8
		2. 2人	65.8	65.9	65.8	67.0	65.3	65.3
		3. 3人	26.4	26.4	26.4	25.4	26.9	26.9
		4. 4人	2.4	2.8	1.9	2.4	2.4	2.3
		5. 5人以上	0.6	0.5	0.7	0.4	0.6	0.7
	何番目か	1. 1番目	45.0	43.7	46.4	45.2	45.9	44.0
		2. 2番目	43.4	44.9	41.6	41.8	43.0	45.2
		3. 3番目	10.7	10.2	11.3	12.1	10.0	9.9
		4. 4番目	0.8	1.0	0.6	0.6	1.0	0.9
		5. 5番目以上	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0

モノグラフ・小学生ナウ

定期購読のおすすめ

モノグラフ・小学生ナウのご購読をご希望の方は、下記要領でお申し込みください。

1. 購読料 定期購読 1年 3,000円
(バックナンバー 1冊 300円)
(合本 vol.1 1冊 6,000円、vol.2 1冊 7,000円)
2. 申し込み方法 下の申込書にご記入のうえ、郵便小為替(郵便局でおつくりください)を購読料分添えてお申し込みください。
※その際、受取人欄にはご記入にならないでください。
3. 申し込み先 〒102 東京都千代田区九段南2-3-28
(株)福武書店 教育研究所「小学生ナウ」係

※本年度の発行予定は表紙裏面をごらんください。

----- <きりとせん> -----

モノグラフ・小学生ナウ申し込み書

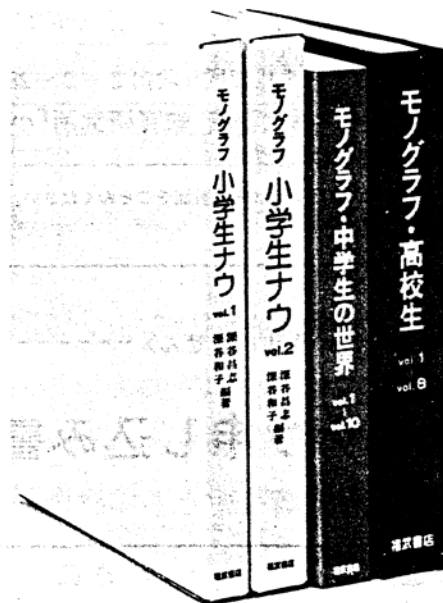
--	--	--

住	〒	都 道 府 県	市 区 郡	電 話	市外 () —
	フリガナ				
所					
	フリガナ				
氏 名	フリガナ		勤務先	フリガナ	
申 し 込 み 内 容	1. 定期購読 Vol. 4-1 から () 部ずつ 1年間3,000円×()部				
	2. バックナンバー Vol. (—) を () 冊 300円×()冊				
	3. 合 本 Vol. 1 を () 冊 6,000円×()冊				
Vol. 2 を () 冊 7,000円×()冊					ご送金総額

「モノグラフ」が 便利な合本・合冊になりました

昭和53年の刊行以来、小・中・高校教育を考える資料として広くご活用いただいております。児童・生徒の生活と意識の調査・分析レポート「モノグラフ」が合本・合冊になりました。限定版のため、お早目にお申し込みください。

放送大学教授 深谷昌志先生 編著
東京学芸大学助教授 深谷和子先生



●合本モノグラフ・小学生ナウ
vol.1 (定価6,000円) vol.2 (定価7,000円)

家庭学習について
子どもとテレビ
子どもの中の未来像
子どもとまんが
手伝いを考える
子どもとお年玉
叱り方と子ども
子どもとスポーツ
子どもと朝食
子どもの持ち物

子どもとこづかい
子どもと給食
子どもと夕食
子どもの経済感覚
子どもにとっての学級
異性の友だち
働くお母さん
読書
基本的な生活習慣
生活体験
夏休み
ケンカ

●合冊モノグラフ・中学生の世界
(定価6,000円)

vol.1 学校生活の楽しさに関する考察
2 中学生の余暇
3 中学生の母親の意識
4 非行文化をめぐって
5 学業不振とその背景
6 交換日記
7 中学教師の生活と意見
8 女子中学生
9 生徒がみた中学教師
10 中学生の父親

●合冊モノグラフ・高校生
(定価6,000円)

vol.1 高校生の描く未来像
2 高校生の生徒文化
3 高校間格差
4 異性・結婚・家庭
5 高校生の校外生活と価値観
6 高校生の政治意識
7 高校生活をふりかえって
8 職業科に学ぶ高校生

お申し込み方法——

「モノグラフ」合本・合冊をご希望の方は、ハガキでお申し込みのうえ、代金をお振込みいただくか(住友銀行 市ヶ谷支店 普通口座817750(株)福武書店 東京支社)、郵便小為替または切手にて、ご送金ください。送料は弊社にて負担いたします。

〒102 東京都千代田区九段南2-3-28 TEL(03)230-2131 福武書店 教育研究所「モノグラフ」係

福武書店